

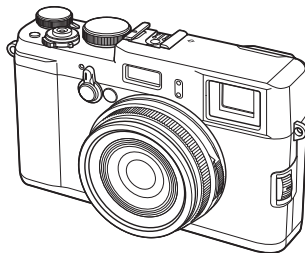
DIGITAL CAMERA

X100S

使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、フジフィルムデジタルカメラ X100S の使い方、および付属ソフトウェアのインストール手順がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。



本製品の関連情報はホームページをご覧ください。
<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>

X100S スペシャルサイト
<http://fujifilm-x.com/x100s/>

はじめに

撮影の準備

基本撮影（静止画編）

静止画の撮影と再生

基本撮影（動画編）

動画の撮影と再生

Q ボタン

Q（クイックメニュー）ボタンの使い方

応用撮影

いろいろな撮影と再生

メニュー一覧

接続編

パソコンに転送

プリント

テレビで再生

カメラで使えるアクセサリ

お取り扱いにご注意ください

困ったときは

資料



カメラをお使いになる前に


次の手順にしたがって
準備してください

1

箱の中の付属品が
すべてそろっているかを
確認してください（右記）。



2

カメラを安全に使用されるために、
「お取り扱いにご注意ください」
（ 129）をお読みください。

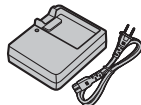


3

本書をよくお読みの上、
カメラをお使いください。

■ 付属品一覧

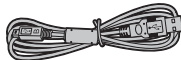
- 充電式バッテリー NP-95（1 個）
- バッテリーチャージャー BC-65N（1 式）



- レンズキャップ（1 式）



- 専用 USB ケーブル（1 本）



- ストラップリング（2 個）



- ストラップリング取り付け
補助具（1 個）



- CD-ROM（1 枚）



- ストラップリングカバー（2 枚）
- ショルダーストラップ（1 本）
- 使用説明書（本書）
- 保証書（1 部）

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

目次	➔	📖 5	トラブルシューティング /FAQ	➔	📖 134
カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときに参照してください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。			カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。		
警告表示	➔	📖 141	用語の解説	➔	📖 145
画面に表示される警告の意味と原因を紹介しています。			カメラに関する専門用語を解説しています。		
各撮影モードで使用できる機能について	➔	📖 147	索引	➔	📖 154
撮影モードや機能ごとに使用できるメニューなどをまとめて記載しています。			用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。		

🔍 使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販のSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

本書で使われている記号について

- ①：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- ◆：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
- 📖：参照ページを記載しています。

画面のイラストについて

本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。

お手入れについて

カメラのお手入れ

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようなお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- レンズ、液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。


目次

はじめに	2	静止画の撮影と再生	32
カメラをお使いになる前に	2	静止画を撮影する	32
本書について	3	静止画を再生する	34
お手入れについて	4	1 コマ再生	34
カメラのお手入れ	4	撮影時の情報を確認	35
各部の名称	10	再生ズーム	36
コマンドダイヤル	12	マルチ再生	37
コマンドレバー	13	画像を消去する	38
インジケータランプ	13	1 コマ消去	38
画面の表示	14	複数指定消去	39
再生時	16	全コマ消去	39
撮影の準備	17	フラッシュ撮影する	40
ストラップを取り付ける	17	近距離撮影する (マクロ)	42
バッテリーを充電する	19	動画の撮影と再生	43
バッテリーとメモリーカードを入れる	21	ハイビジョン動画を撮影する	43
使用可能なメモリーカード	23	動画を再生する	44
電源をオンにする / オフにする	25	動画再生時の操作方法について	44
初期設定を行う	26	Q (クイックメニュー) ボタンの使い方	45
ファインダー (OVF/EVF) と液晶モニター (LCD) を切り換える	27	Q ボタンを使う	45
VIEW MODE ボタン	27		
視度調節ダイヤル	28		
EVF/LCD 明るさ調整	28		
モニター晴天モード	28		
ハイブリッドビューファインダー (OVF/EVF) の切り換え	29		
情報表示について	30		

いろいろな撮影と再生	47	連写画像を撮影・再生したい.....	70
撮影モードを変更したい.....	47	連続撮影（連写）.....	70
プログラム AE (P).....	47	連写画像の再生.....	71
シャッタースピード優先 AE (S).....	48	パノラマ画像を撮影・再生したい.....	72
絞り優先 AE (A).....	49	ぐるっとパノラマモード撮影.....	72
マニュアル露出 (M).....	50	パノラマ画像の再生.....	74
絞りとシャッタースピードを適切に設定する.....	51	RAW 画像を撮影・現像したい.....	75
長時間露出で撮影したい.....	52	RAW 画像の撮影.....	75
タイム撮影 (T).....	52	RAW 画像の現像（カメラ内 RAW 現像）.....	76
バルブ撮影 (B).....	52	ND フィルターを使う.....	78
ホワイトバランスを変更したい.....	53	画像を検索したい.....	79
ISO 感度を変更したい.....	56	ピックアップサーチ.....	79
ピントに関する設定を変更したい.....	58	フォトブックを作成したい.....	80
ピント合わせの方法を変更（フォーカスモード）.....	58	フォトブックアシスト.....	80
M（マニュアルフォーカス）での撮影方法.....	58	ファンクション (Fn) ボタンに機能を割り当てたい.....	82
ピント合わせのエリアを変更（AF エリア選択）.....	60	Fn ボタン設定.....	82
AE/AF ロック撮影したい.....	61	撮影の設定を保存したい.....	83
露出を補正したい.....	63	設定を変更して動画を撮影したい.....	84
明るさの測定方法を変更したい（測光モード）.....	64	背景ボケを生かした動画について.....	84
セルフタイマーを使って撮影したい.....	65	動画設定を変更するには.....	84
いろいろな仕上がりの画像を撮影したい.....	66	動画の音声録音について.....	84
フィルムシミュレーション.....	66		
ブラケティング撮影.....	67		
画像を重ね合わせて撮影（多重露出撮影）.....	69		

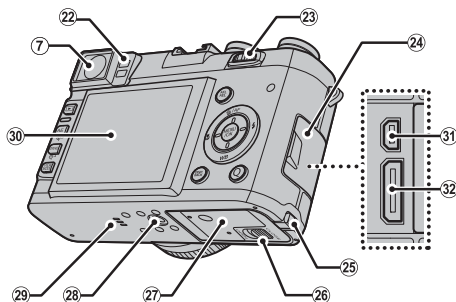
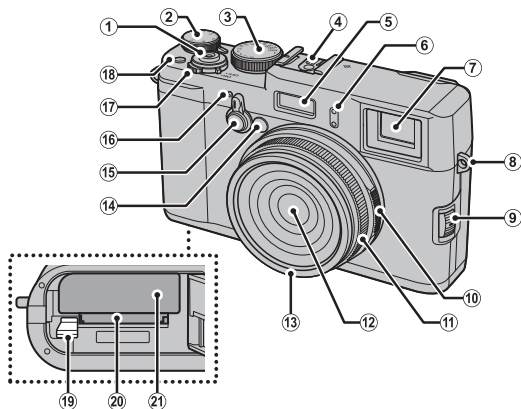
メニュー一覧	85	Fn Fn ボタン設定.....	89
撮影の設定を変える — 撮影メニュー	85	画面のカスタマイズ	90
撮影メニューの使い方.....	85	フレーミングガイド	91
撮影メニュー一覧.....	86	ワイドコンバージョンレンズ	91
セルフタイマー	86	MF アシスト	91
ISO 感度	86	アドバンストフィルター	92
画像サイズ	86	AF モード	92
画質モード	87	AF 補助光	93
D-Ring ダイナミックレンジ	87	AE/AF-LOCK 設定	93
フィルムシミュレーション	87	AE/AF-L AE/AF-LOCK 機能選択	93
フィルムシミュレーション BKT	87	AF フレーム補正	93
ND ND フィルター	87	フラッシュ	94
Color カラー	88	赤目補正	94
Sharp シャープネス	88	補正前画像記録	94
ハイライトトーン	88	動画撮影メニュー一覧	95
シャドウトーン	88	動画モード	95
NR ノイズリダクション	88	フィルムシミュレーション	95
長秒時ノイズ低減	89	マイクレベル設定	95
カスタム選択	89	画面のカスタマイズ	95
カスタム登録 / 編集	89	ワイドコンバージョンレンズ	95

再生の設定を変える — 再生メニュー	96	カメラの設定を変える — セットアップメニュー	103
再生メニューの使い方	96	セットアップメニューの使い方	103
再生メニュー—覧	97	セットアップメニュー—覧	104
RAW 現像	97	日時設定	104
消去	97	世界時計	104
トリミング	97	言語/LANG	104
リサイズ	98	リセット	104
プロテクト	98	マナーモード	105
画像回転	99	コマ NO	105
画像コピー	99	フォーカスリング	105
赤目補正	100	フォーカスチェック	105
スライドショー	100	距離指標の単位	106
フォトブックアシスト	100	音設定	106
アップロード先設定	101	表示設定	107
ピクチャーサーチ	101	消費電力設定	107
プリント予約 (DPOF)	101	OVF 撮影枚数 UP	108
表示比率	102	シャッター回数	108
再生音量	102	色空間	108
		Eye-Fi 送信	109
		フォーマット	109

パソコンに転送 110	カメラで使えるアクセサリ 125
パソコンと接続する..... 110	アクセサリ..... 125
Windows にソフトウェア「MyFinePix Studio」をインストールする..... 110	別売アクセサリ..... 125
Macintosh にソフトウェア「RAW FILE CONVERTER」をインストールする..... 113	別売アクセサリの取り付け方..... 126
Mac (Macintosh) で画像や動画を取り込む場合..... 114	ワイドコンバージョンレンズの使い方..... 127
カメラとパソコンを接続する..... 115	システム構成図..... 128
プリント 117	お取り扱いにご注意ください 129
プリンターにカメラをつないでプリントする..... 117	困ったときは 134
プリンターに接続する..... 117	トラブルシューティング / FAQ..... 134
その場で選んでプリントする..... 117	警告表示..... 141
プリント予約した設定でプリントする..... 118	資料 145
プリントサービス店でプリントする (お店プリント)..... 120	資料集..... 145
プリントする画像を指定する ( プリント予約 (DPOF))..... 121	用語の解説..... 145
テレビで再生 123	メモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間..... 146
テレビに接続する..... 123	各撮影モードで使用できる機能について..... 147
	主な仕様 149
	索引 153
	ソフトウェアのお問い合わせについて..... 156
	アフターサービスについて..... 157

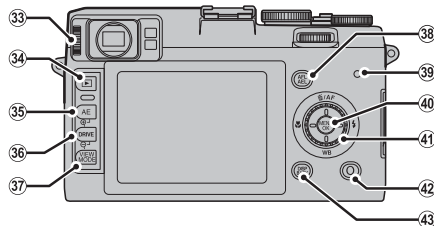
各部の名称

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。



1	シャッターボタン	33	12	レンズ	4	23	コマンドレバー	13
2	露出補正ダイヤル	63	13	フロントリング	126	24	端子カバー 84、115、117、123	
3	シャッタースピードダイヤル	47、48、49、50	14	AF 補助光ランプ	93	25	DC カプラーカバー	
4	ホットシュー	40、128	15	セルフタイマーランプ	65	26	バッテリーカバーロック	21
5	フラッシュ	40	16	ファインダー切換レバー	29	27	バッテリーカバー	21
6	マイク (L)	43	17	電源レバー	25	28	三脚用ねじ穴	
7	ハイブリッドビューファインダー	27	18	Fn (ファンクション) ボタン	82	29	スピーカー	44
8	ストラップ取り付け部	17	19	Battery (ファンクション) ボタン	82	30	液晶モニター (LCD)	27
9	フォーカスモード切換レバー	32、58	20	バッテリー取り外しつまみ	23	31	USB マルチコネクター	115、117
10	絞りリング	49、50	21	メモリーカードスロット	22	32	HDMI ミニ端子	123
11	フォーカスリング	58	22	バッテリー挿入部	21			
				アイセンサー	27			



使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。




33	視度調節ダイヤル.....	28	37	VIEW MODE ボタン.....	27	41	コマンドダイヤル.....	12
34	▶ (再生) ボタン.....	34	38	AFL/AEL (AF ロック / AE ロック) ボタン.....	58、62、93	42	Q ボタン.....	28、45
35	AE 選択ボタン.....	64	39	インジケータランプ.....	13	43	DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン... 30	
	Q (拡大) ボタン.....	36、37	40	MENU/OK ボタン.....	12		⏸ マナーモード (長押し)... 下記参照	
36	DRIVE ボタン... 43、67、69、70、72			ボタンロック (長押し).....	下記参照			
	Q (縮小) ボタン.....	36、37						

マナーモード

フラッシュ光やシャッター音などを避けたい状況での撮影には「マナーモード」を使います。マナーモードは、**DISP/BACK** ボタンを長押しして設定します。マナーモードに設定すると、フラッシュや AF 補助光が発光禁止になり、操作音やシャッター音、動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

- ◆ マナーモードに設定すると、画面に  が表示されます。
- ◆ もう一度 **DISP/BACK** ボタンを長押しすると、マナーモードが解除されます。
- ◆ 動画の再生中は、マナーモードを変更することはできません。
- ◆ マナーモードは、セットアップメニューの  マナーモードからも設定できます (p.105)。

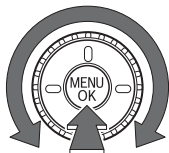
撮影時のボタンロックについて

MENU/OK ボタンを長押しすると、画面に  が表示され、コマンドダイヤルの上下左右に割り当てられている機能 (AF 選択 / フラッシュ / ホワイトバランス / マクロ) と **Q** ボタンが使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。再度、**MENU/OK** ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

コマンドダイヤル

コマンドダイヤルを回す

時計回り / 反時計回りに回して項目を選択し、中央の **MENU/OK** ボタンを押して決定します。



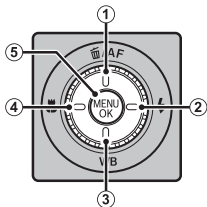
また、次の機能が使用できます。

- プログラムシフトの調整 (47)。
- シャッタースピードの調整 (1/2段刻み) (48, 50)。

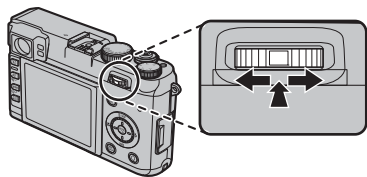
コマンドダイヤルの ▲▼◀▶ を押す

コマンドダイヤルを回さずに、▲▼◀▶ を押して項目を選択したり、機能を使用したりできます。

- ① 上に移動 ▲
☒ (消去) ボタン (38) /
AF 選択ボタン (60)
- ② 右に移動 ▶
⚡ (フラッシュ) ボタン
(40)
- ③ 下に移動 ▼
WB (ホワイトバランス) ボタン (53)
- ④ 左に移動 ◀
📷 (マクロ) ボタン (42)
- ⑤ **MENU** (メニュー) / **OK** ボタン (85, 96, 103)



コマンドレバー



コマンドレバーを左右に倒す


コマンドレバーを左右に倒すと、次の機能が使用できます。

- コマンドダイヤルを回す代わりとして使用できます。
- プログラムシフトの調整 (47)。
- 絞りの調整 (1/2 段刻み) (49、50)。

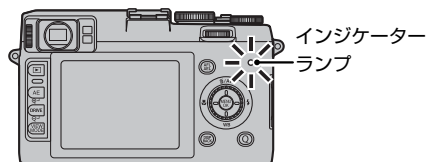
コマンドレバーの中央を押す

コマンドレバーの中央を押すと、次の機能が使用できます。

- **EVF/LCD 時**：撮影時に指定したフォーカスエリアを拡大表示します。
- **再生時 / 撮影直後の確認画面表示時 (※)**：撮影画像のピントを合わせた位置を中心に拡大表示します。もう一度押すと、元に戻ります。

※  表示設定の撮影画像表示が連続に設定されているときのみ (107)

インジケータランプ



インジケータランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

インジケータランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です (撮影できません)。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードに画像を記録しています (続けて撮影できます)。
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています (撮影できません)。
橙色点滅	フラッシュ充電中です (フラッシュは発光しません)。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

◆ 画面にも、警告表示が表示されます (141)。

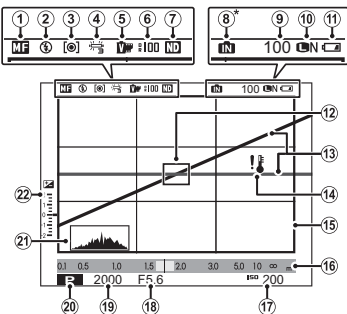
画面の表示

撮影時および再生時には、画面に次の情報が表示されます。

① 説明のため情報はすべて表示しています。

光学ファインダー（OVF）

■ 静止画撮影時

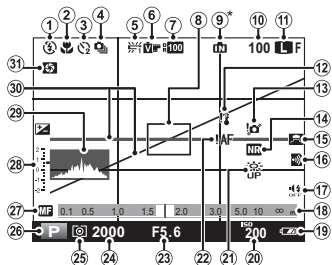


* **IN** はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

1	マニュアルフォーカス.....	58	13	電子水準器.....	90
2	フラッシュ.....	40	14	温度警告.....	144
3	測光モード.....	64	15	ブライツフレーム.....	
4	ホワイトバランス.....	53	16	距離指標バー.....	59
5	フィルムシミュレーション.....	66	17	ISO 感度.....	56
6	ダイナミックレンジ.....	87	18	絞り値.....	47、49、50、84
7	ND フィルター.....	78	19	シャッタースピード... ..	47、48、50
8	内蔵メモリー*		20	撮影モード.....	47
9	撮影可能枚数.....	146	21	ヒストグラム.....	31
10	画像サイズ・画質モード... ..	86、87	22	露出補正パーノ	
11	バッテリー残量表示.....	25		露出インジケーター.....	50、63
12	AF フレーム.....	33、61			

電子ビューファインダー (EVF)

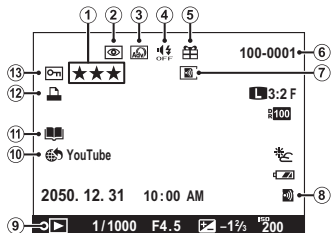
■ 静止画撮影時



* **IN** はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

1	フラッシュ	40	17	マナーモード	11、105
2	マクロ (近距離)	42	18	距離指標バー	59
3	セルフタイマー	65	19	バッテリー残量表示	25
4	連写モード	70	20	ISO 感度	56
5	ホワイトバランス	53	21	モニター晴天モード	28
6	フィルムシミュレーション	66	22	AF 警告	13、137、141
7	ダイナミックレンジ	87	23	絞り値	47、49、50、84
8	AF フレーム	33、61	24	シャッタースピード	47、48、50
9	内蔵メモリー *		25	測光モード	64
10	撮影可能枚数	146	26	撮影モード	47
11	画像サイズ・画質モード	86、87	27	マニュアルフォーカス	58
12	温度警告	144	28	露出補正バー / 露出インジケーター	50、63
13	手ブレ警告	13、137、141	29	ヒストグラム	31
14	ND フィルター	78	30	電子水準器	90
15	ワイドコンバージョンレンズ	127	31	被写界深度確認	49
16	Eye-Fi 送信	109			

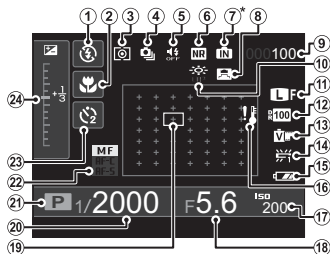
■ 再生時



1	お気に入り	34	8	Eye-Fi 送信	109
2	赤目補正	100	9	再生モード	34
3	アドバンスドフィルター	92	10	アップロード先設定	101
4	マナーモード	11、105	11	フォトブックアシスト	80
5	プレゼント	34	12	プリント予約	121
6	コマ NO.	105	13	プロテクト	98
7	Eye-Fi 送信済み	109			

液晶モニター (LCD)

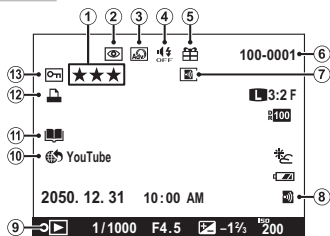
■ 静止画撮影時



* **IN** はメモリーカードがカメラに入っていないときに、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

1	フラッシュ	40	14	ホワイトバランス	53
2	マクロ (近距離)	42	15	バッテリー残量表示	25
3	測光	64	16	温度警告	144
4	連写	70	17	ISO 感度	56
5	マナーモード	11、105	18	絞り値	47、49、50、84
6	ND フィルター	78	19	AF エリア・AF エリアポイント	60
7	内蔵メモリー*		20	シャッタースピード	47、48、50
8	ワイドコンバージョンレンズ	127	21	撮影モード	47
9	撮影可能枚数	146	22	フォーカスモード	58
10	モニター晴天モード	28	23	セルフタイマー	65
11	画像サイズ・画質モード	86、87	24	露出補正バー / 露出インジケーター	50、63
12	ダイナミックレンジ	87			
13	フィルムシミュレーション	66			

再生時



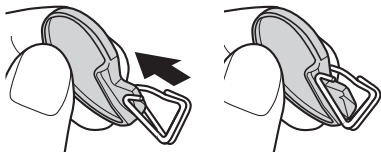
1	お気に入り	34	8	Eye-Fi 送信	109
2	赤目補正	100	9	再生モード	34
3	アドバンスフィルター	92	10	アップロード先設定	101
4	マナーモード	11、105	11	フォトブックアシスト	80
5	プレゼント	34	12	プリント予約	121
6	コマ NO.	105	13	プロテクト	98
7	Eye-Fi 送信済み	109			



ストラップを取り付ける

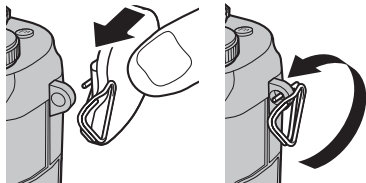
カメラにストラップを取り付ける前に、ストラップリングをカメラに取り付けます。

- 1** ストラップリング取り付け補助具およびストラップリングの向きに注意して、図のようにストラップリングの切りこみを広げます。

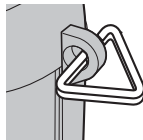


- ① ストラップリング取り付け補助具は、カメラからストラップリングを取り外すときも使用しますので、大切に保管してください。

- 2** ストラップリングの切り込みを、ストラップ取り付け部に引っ掛けます。手を添えながら、ストラップリング取り付け補助具を抜き取ります。

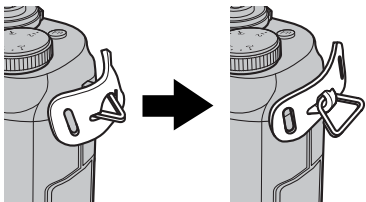


- 3** ストラップリングを回転させ、カチッと音がするまで完全に通します。



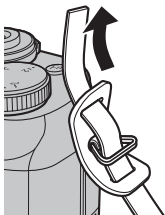
ストラップを取り付ける

- 4** ストラップリングカバーの黒い面をカメラに向け、切り欠き部分からストラップリングを通して、カメラに取り付けます。

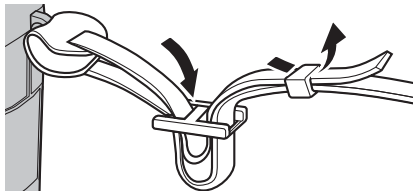


反対側も同様に、手順 1～4 を繰り返して取り付けます。

- 5** ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通します。



- 6** ストラップを止め具に通します。



反対側も同様に、手順 5～6 を繰り返して取り付けます。

- ① ストラップの取り付けかたを間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

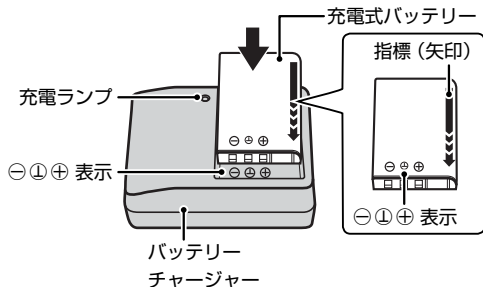
バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。

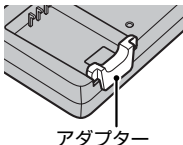
- お客様がお使いのバッテリーは NP-95 です。
- 充電時間については、 153 をご確認ください。

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

⊖ ⊕ ⊕ 表示に従って、下図の方向で正しくセットしてください。



- ◆ 充電時は付属のアダプターを装着してください（付属のバッテリーチャージャーは、工場出荷時にアダプターが装着された状態になっています）。



2 電源プラグをコンセントに差し込みます。充電ランプが点灯して、充電を開始します。

● 充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください
	フル充電 (充電終了)	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください

3 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

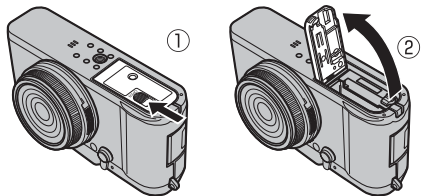
バッテリーを充電する

- ① 同梱されている充電器は 100 ～ 240V まで対応しており、海外でもご使用頂けます。変換プラグアダプターが必要な場合がありますので、あらかじめ旅行代理店などにお問い合わせください。
- ① 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ① バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- ① バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- ① バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」（☞ 129）を参照してください。
- ① 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- ① 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- ① バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。
- ① 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ① バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ① 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- ① 低温時は充電時間が長くなることがあります。

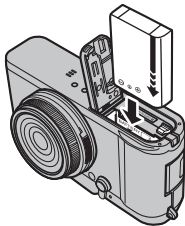
バッテリーとメモリーカードを入れる

バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。撮影した画像は、市販のSD/SDHC/SDXCメモリーカードに記録します。

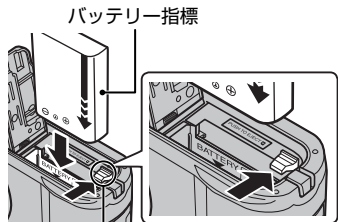
- 1** バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。



- 2** バッテリーを入れます。



- 図のように、金色の端子を下にして、カメラのバッテリー取り外しつまみ（オレンジ色）にバッテリーのバッテリー指標（オレンジ色）を合わせます。

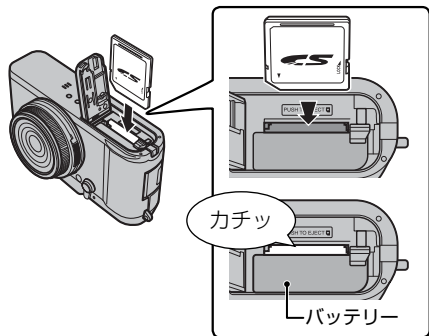



バッテリー取り外しつまみ

- バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。
 - バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。
- ① カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- ① バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。
- ① バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。

3 メモリーカードを入れます。

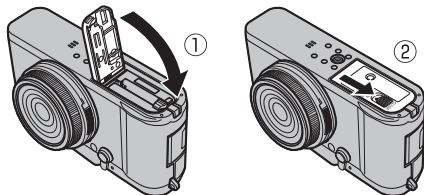
図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。



① メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。メモリーカードが正しく入っていないと、撮影された画像は内蔵メモリー（）と画面に表示されます）に記録されます。

4 バッテリーカバーを開めます。

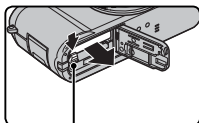
バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを閉めてください。



① バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。

● バッテリーを取り出すときは

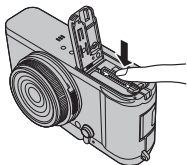
カメラの電源をオフしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



バッテリー取り外しつまみ

● メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフしてからバッテリーカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。



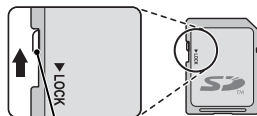
- ① メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
- HD 動画を撮影するときは、CLASS10 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD-ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

バッテリーとメモリーカードを入れる

- ①メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- ①メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。



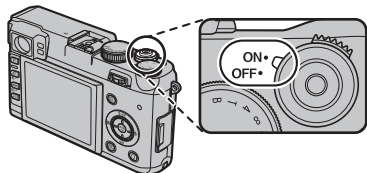
書き込み禁止スイッチ

- ①未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマット (P.109) してからご使用ください。
- ①メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ①外形寸法がSDメモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

- ①メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- ①メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- ①カメラを修理すると、内蔵メモリーのデータが消えたり、壊れたりすることがあります。また、修理技術者が、修理中に内蔵メモリーの画像を見ることがあります。
- ①カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

電源をオンにする / オフにする

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。







- ◆ 撮影中に **▶** (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
- ◆ 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- ◆ 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。**消費電力設定の自動電源OFF** (p.107) では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンの半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。
- ◆ このカメラには節電機能や、起動時間などを短縮する機能があります (p.107、108)。
- ① レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

●● バッテリー残量の表示



液晶モニターの表示で、バッテリー残量を確認できます。



表示	意味
 (白点灯)	バッテリーの残量は十分にあります。
 (白点灯)	バッテリーの残量は約半分以下です。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
 (赤点滅)	バッテリー残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

- ◆ 言語や日時の設定をやり直したい場合は、「セットアップメニューの使い方」(P103)で、 **日時設定**または **言語/LANG.** を選んだあとに、以下の手順で設定できます。

1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。

2 使用する言語を選び、MENU/OK ボタンを押します。



3 年月日の並び順を設定します。

▲▼ で年月日の並び順を選びます。



4 年、月、日、時、分を設定します。

- ◆ ◀▶ で設定する項目(年、月、日、時、分)を選択できます。
- ◆ ▲▼ で設定する数字を変更できます。



5 MENU/OK ボタンを押します。

設定が終了して、撮影を開始できます。



- ◆ バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

● 設定のスキップ

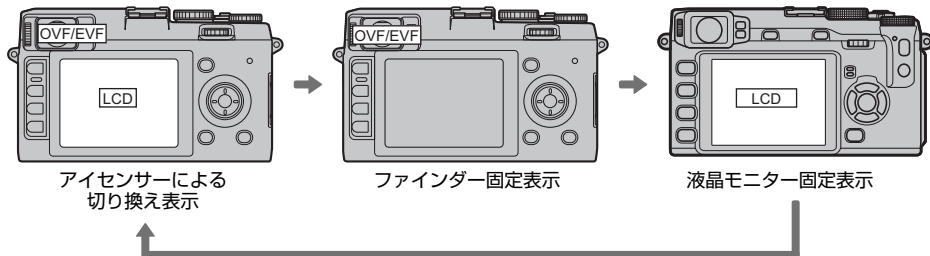
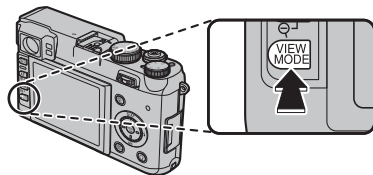
DISP/BACK ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

ファインダー（OVF/EVF）と液晶モニター（LCD）を切り換える

このカメラは、ハイブリッドビューファインダー（光学ファインダー（OVF）、電子ビューファインダー（EVF））、液晶モニター（LCD）を装備しています。

VIEW MODE ボタン

VIEW MODE ボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。



アイセンサーによる
切り換え表示

ファインダー固定表示

液晶モニター固定表示

● アイセンサーによる切り換え表示について

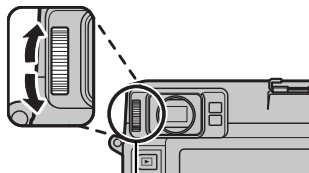
- ・ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの動きにより、表示が自動的にファインダーに切り換わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
- ・目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。



ファインダー（OVF/EVF）と液晶モニター（LCD）を切り換える


視度調節ダイヤル

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーをのぞきながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。調節できる視度の範囲は $-2 \sim +1 \text{ m}^{-1}$ (dpt)です。




視度調節ダイヤル

EVF/LCD 明るさ調整

表示設定のEVF/LCD明るさ (107) で、モニターの明るさを調整できます。ファインダーを使用しているときはEVFの明るさを、液晶モニターを使用しているときはLCDの明るさをそれぞれ調整できます。

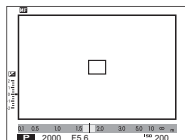
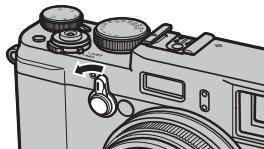
モニター晴天モード

晴天の野外など、光の反射や映り込みが多く液晶画面が見にくい時に、**Q** ボタンを長押しするとモニター晴天モードになり、画面が見やすくなります。モニター晴天モードは、表示設定のモニター晴天モード (107) でも設定できます。

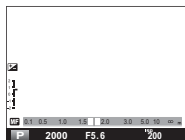
ハイブリッドビューファインダー（OVF/EVF）

の切り換え

ファインダー切換レバーをひくと、OVFとEVFが切り換わります。



OVF 画面



EVF 画面

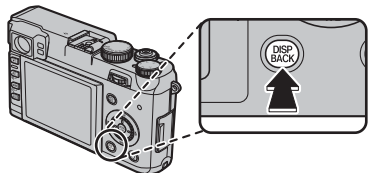
●● ファインダーと LCD について

ファインダーと LCD にはそれぞれ特徴があります。

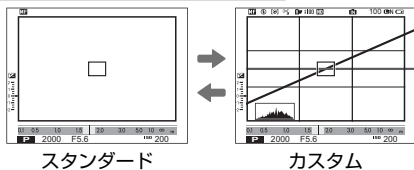
種類	説明
OVF	<p>光学式なので、被写体をクリアに見ることができ、見ているそのままの瞬間を写せます。ファインダーとレンズが別の場所に入っているため、視差（パララックス）が発生し、ファインダーで見た構図と若干異なって撮影されることがあります。</p> <p>OVF にはそのほかに以下のような特徴があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 写る範囲の少し外まで見えるため、フレーミングがしやすくなくなります。 ・ 被写体がボケないので、いつでも表情を確認できます。
EVF	<p>レンズから入った光を撮像素子で変換してファインダーに表示するため、ファインダーで見たままの画像を撮影できます。実際の被写体と、ファインダーの表示に若干タイムラグが発生します。</p> <p>EVF にはそのほかに以下のような特徴があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファインダー視野率 100% のため、いつでも正確にフレーミングができます。 ・ 撮影後の画像をファインダーで確認できます。 ・ ピントをライブビューで確認できます。 ・ 明るさやホワイトバランスを確認できます。 ・ 被写界深度を確認できます。
LCD	<p>EVF と同様に、レンズから入った光を撮像素子で変換して液晶モニターに表示します。実際の被写体と表示に若干タイムラグがあります。また、強い光の下では見づらくなります。</p> <p>LCD にはそのほかに以下のような特徴があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 画面が大きいため、表示が見やすくなっています。 ・ 撮影情報を大きく表示できます。

情報表示について

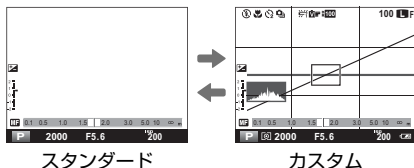
撮影モードまたは再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



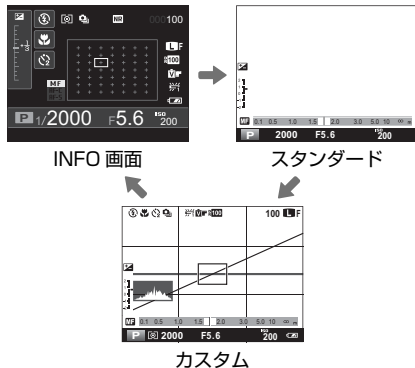
撮影時：光学ファインダー（OVF）



撮影時：電子ビューファインダー（EVF）



撮影時：液晶モニター（LCD）



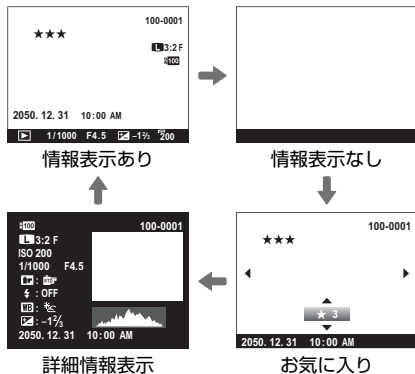
● カスタム表示について

撮影メニューの **画面のカスタマイズ** (p.90) で表示したい項目を選択できます。画面に表示できる項目は以下のとおりです。

- ・フレーミングガイド
- ・電子水準器
- ・AF 時の距離指標
- ・MF 時の距離指標
- ・ヒストグラム
- ・シャッター速度 / 絞り / ISO
- ・露出補正バー
- ・測光
- ・フラッシュ
- ・ホワイトバランス
- ・フィルムシミュレーション
- ・ダイナミックレンジ
- ・撮影可能枚数
- ・画像サイズ & 画質モード
- ・バッテリー残量表示

◆ 表示される場所は **14** をご覧ください。

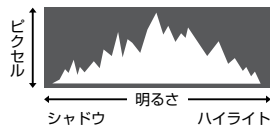
再生時：EVF/LCD



① OVF での再生表示はありません。

● ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。



適正露出の場合：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。



露出オーバーの場合：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。



露出アンダーの場合：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



① 被写体によってグラフ形状は異なります。

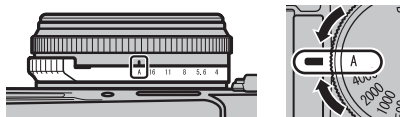
基本撮影 (静止画編) 静止画の撮影と再生

静止画を撮影する

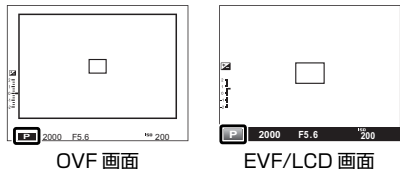
ここでは、プログラム AE (P) 撮影の基本的な流れを説明します。

その他のモード (S、A、M) の撮影方法は「撮影モードを変更したい」をご覧ください (p.47)。

- 1** レンズの絞り設定を A、シャッタースピードダイヤルを A に設定します。



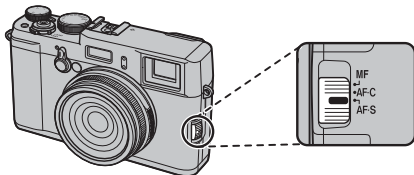
表示画面に P が表示されます。



● Q ボタンについて

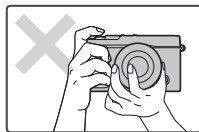
Q ボタンを押すと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます (p.45)。

- 2** フォーカスモード切換レバーを AF-S (シングル AF) に合わせます (p.58)。



- 3** カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



- 4** 被写体を中央にしてシャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。



ピントが合ったとき

ピピッと音が鳴り、AF フレームが緑色に点灯します。

ピントが合わないとき

AF フレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示されます。

- ◆ シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。
- ◆ 被写体との距離が近すぎる場合は、ピント合わせができません。この場合は、**MACRO** ボタンでマクロモードに設定して、撮影してください（図 42）。

- 5** シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

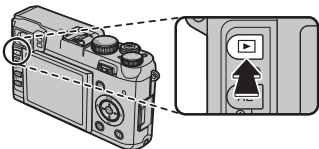


- ◆ 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光（図 93）が発光する場合があります。

静止画を再生する


1 コマ再生

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示 (1 コマ再生) されます。



1 つ前の画像を見るには ◀ を押します。
次の画像を見るは ▶ を押します。ボタン
を押し続けると、早送りします。



- ◆ コマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- ◆ 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに  (プレゼントアイコン) が表示されます。

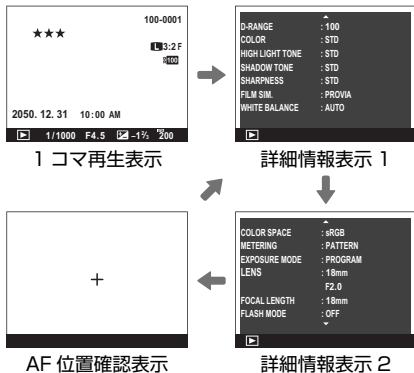
★ お気に入りを設定する

1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、★ お気に入り
のランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼
で ★ の数 (0 ~ 5) を設定します。

静止画を再生する

撮影時の情報を確認

1 コマ再生時にコマンドレバーを右に倒すと、撮影時の詳細情報を確認できます。



- ◆ AF 撮影時にピントを合わせた位置も確認できます。ピントを合わせた位置に「+」マーク（AF エリアポイント）が表示されます。

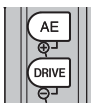
- ピントの位置を拡大表示する
コマンドレバーの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度コマンドレバーの中央を押すと、1 コマ再生に戻ります。



静止画を再生する

再生ズーム

1 コマ再生時に **Q** ボタンを押すと、画像をズーム（拡大）できます。拡大後は **Q** ボタンで縮小します。



Q を押すと拡大します。



Q を押すと縮小します。



ズームバー

拡大表示中に **▲▼◀▶** を押すと、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



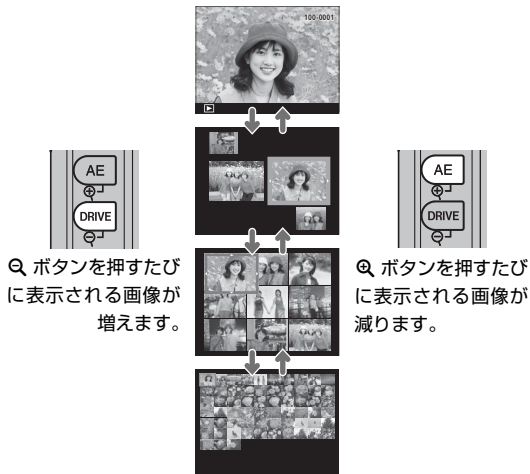
ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押します。

- ◆ 最大ズーム倍率は、設定した **画像サイズ** (86) によって変わります。
- ◆ **リサイズ** (98) または **トリミング** (97) の **640** で保存された画像は、再生ズームは使えません。

マルチ再生


再生時に、1コマ、2コマ、9コマ、100コマ（マイクサムネイル）の一覧を表示して画像を比較したり、見たい画像を選んだりすることができます。




- ▲▼◀▶ で画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- 9コマ再生または100コマ再生では、▲または▼でページを切り換えられます。

画像を消去する

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。


1 コマ再生中に  (消去) ボタンを押して、消去方法を選びます。





- ◆ プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください(98)。
- ◆ 再生メニューの  消去でも、画像を消去できます。

1 コマ消去



画像を1コマだけ消去します。

- 1 コマ再生中に  (消去) ボタンを押して、1コマを選びます。



- 消去する画像を  または  で選んでから MENU/OK ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。




- ◆ MENU/OK ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- ◆ MENU/OK ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を  または  で選んでから MENU/OK ボタンを押してください。

複数指定消去

☑ が表示されている画像をまとめて消去できます。

◆ プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、❶ が表示されます。



❶ 1コマ再生中に  (消去) ボタンを押して、複数指定を選びます。



❷ 消去する画像を選んで MENU/OK ボタンを押すと、選択されます。

- 選択された画像は ☑ が表示されます。
- もう一度、MENU/OK ボタンを押すと、選択が解除されます。



❸ まとめて消去する画像を選択指定した後、DISP/BACK ボタンを押します。消去実行画面が表示されます。




❹ 実行を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。



全コマ消去

画像がすべて消去されます。

❶ 1コマ再生中に  (消去) ボタンを押して、全コマを選びます。



❷ 実行を選んで、MENU/OK ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。



◆ DISP/BACK ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

◆ プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。MENU/OK ボタンを押すと、その画像を消去します。

◆ メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード内の画像がすべて消去され、メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像がすべて消去されます。

フラッシュ撮影する

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

⚡ (▶) ボタンを押すと、フラッシュモード設定画面が表示されます。







フラッシュ	説明
オート (表示なし)	カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
⚡ 強制発光	周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
④ 発光禁止	被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。
S/S スローシンクロ	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。
#E コマンダー	スレーブ対応の外部フラッシュを同調させます。
#E 外部フラッシュ	富士フィルム製以外の外部フラッシュを使用するときを設定します。


- ◆ フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に ⚡ が表示されます。
- ◆ フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します(コマンダーモードを除く)。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。
- ◆ 別売のレンズフード装着時はケラレが起こることがあるためフラッシュ撮影はおすすめできません。
- ① マナーモード(🔕 11)時は、フラッシュ発光禁止になります。

別売フラッシュについて

このカメラでは、富士フィルム製のクリップオンフラッシュが使用できます(🔕 125)。

● 赤目補正が ON のときのフラッシュ設定について

撮影メニューの  赤目補正を ON (頁 94) にした場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、 (赤目軽減オートフラッシュ)、 (赤目軽減 + 強制発光フラッシュ)、 (赤目軽減 + スローシンク口) から設定できます。

 (赤目軽減オートフラッシュ) は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。



● フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $\frac{1}{2000}$ 秒以下です。

● 他社製のフラッシュをお使いなるときのご注意

カメラのホットシューに高電圧のかかるフラッシュは使用できません。

■ フラッシュの調光範囲（光の届く範囲）

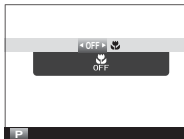
フラッシュは ISO 感度と絞り値によって調光範囲（光の届く範囲）が異なります。

ISO 感度および絞り値						調光範囲 (m)
200	400	800	1600	3200	6400	
—	—	—	—	—	2	0.5 ~ 18
—	—	—	—	2	2.8	0.5 ~ 13
—	—	—	2	2.8	4	0.5 ~ 9.0
—	—	2	2.8	4	5.6	0.5 ~ 6.4
—	2	2.8	4	5.6	8	0.5 ~ 4.5
2	2.8	4	5.6	8	11	0.5 ~ 3.2
2.8	4	5.6	8	11	16	0.5 ~ 2.3
4	5.6	8	11	16	—	0.5 ~ 1.6
5.6	8	11	16	—	—	0.5 ~ 1.1
8	11	16	—	—	—	0.5 ~ 0.8

近距離撮影する(マクロ)

近距離撮影するときは、マクロモードを使用します。

🌸 (◀) ボタンを押します。



マクロのオンまたは、オフを選びます。

マクロ	説明
🌸	マクロ撮影をオンにします。
OFF	マクロ撮影をオフに(解除)します。

① マクロモードを使用できるのはEVF/LCDの場合のみです。OVFに設定されている場合、自動的にEVFに切り換わります。

- ◆ 最短撮影距離は約10cmです。
- ◆ EVF/LCDでは、🌸 ボタンを押さなくても自動的に近接撮影できますが、ピントが合うまでの時間がかかる場合があります。
- ◆ フラッシュ使用時に50cmよりも近距離で撮影すると、レンズの影が写ることがあります。その場合は、被写体との距離を少し離して撮影してください。

●● OVFの場合

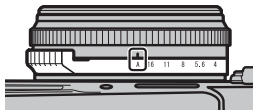
OVFの場合は視差が大きくなるため、80cm未満の近接撮影はおすすめできません。

基本撮影 (動画編) 動画の撮影と再生

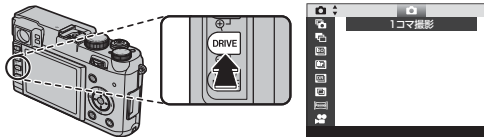
ハイビジョン動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

- 1** レンズの絞り設定を **A** に設定します。



- 2** **DRIVE** ボタンを押します。
ドライブ設定画面が表示されます。



- 3** ▲▼ で 動画を選びます。



- 4** **MENU/OK** を押します。



Q ボタンについて

Q ボタンを押すと、動画撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます (p.45)。

- 5** シャッターボタンを全押しします。
動画撮影が開始されます。



- ① 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。


- 6** シャッターボタンを押します。
撮影が終了します。残り時間がなくなるか、内蔵メモリーまたはメモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

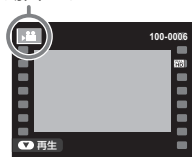


- ◆ 露出、ホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。撮影した動画の色と明るさが、撮影前の画面表示と異なることがあります。

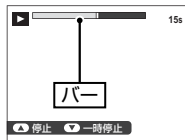
- ① 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。また、動画撮影中はマイクに近いファインダー切換レバーを操作しないようにしてください。
① 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
① 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。
① 動画撮影時は、自動的に EVF/LCD になります。

動画を再生する

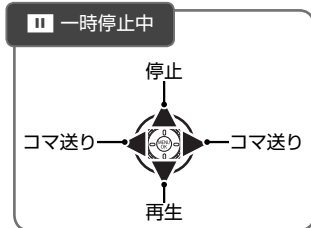
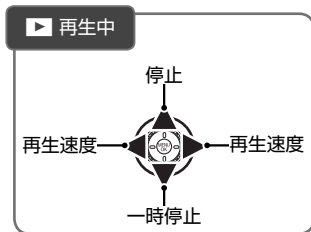
画像の再生時に動画を選択する
と、が表示されます。





動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。



動画再生時の操作方法について



再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲または▼を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、再生音量でも設定できます

- ① スピーカー（カメラ底面）を指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。
- ① マナーモード（ 11）の場合は音声再生されません。

● 動画の再生速度について

◀または▶を押して、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの▶(◀)の数で表示されます。▶(◀)の数が多いほど速度が速くなります。

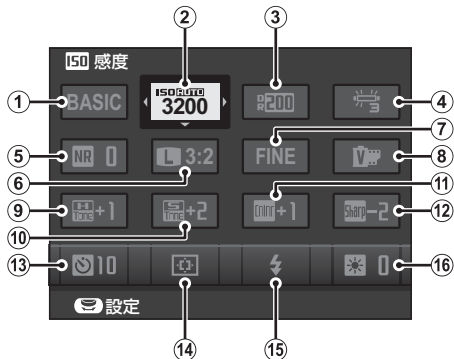
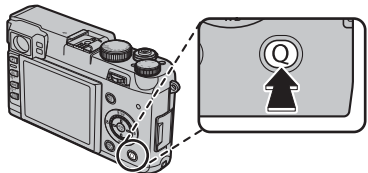


Qボタン Q (クイックメニュー) ボタンの使い方

Qボタンを使う

Qボタンを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます

- 1** 撮影画面でQボタンを押します。
クイックメニューが表示されます。



- 2** 設定を変更するメニュー項目を
▲▼◀▶で選びます。



	メニュー項目	📖
1	カスタム選択	83
2	ISO 感度	56
3	ダイナミックレンジ	87
4	WB ホワイトバランス	53
5	NR ノイズリダクション	88
6	画像サイズ	86
7	画質モード	87
8	フィルムシミュレーション	66
9	ハイライトトーン	88
10	シャドウトーン	88
11	Color カラー	88
12	Sharp シャープネス	88
13	セルフタイマー	65
14	AF モード	92
15	フラッシュモード	40
16	EVF/LCD 明るさ	107

Q ボタンを使う

3 コマンドレバーで設定値を選びます。

- ◆ 各メニューの設定値は、参照ページ先でご確認ください。

**4** Q ボタンを押します。

表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

- ◆ クイックメニュー表示中に、Q ボタンを長押しすると、カスタム登録 / 編集画面を表示できます。

● 動画撮影時のクイックメニューについて

動画撮影時は、以下の項目のクイックメニューが使用できます。

- 動画モード
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- EVF/LCD 明るさ

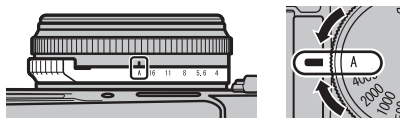


撮影モードを変更したい

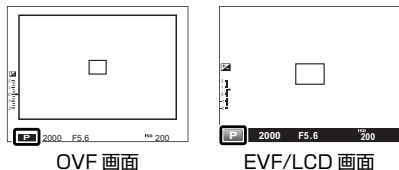
プログラム AE (P)

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。

プログラム AE で撮影するには、レンズの絞り設定を **A**、シャッタースピードダイヤルを **A** に設定します。



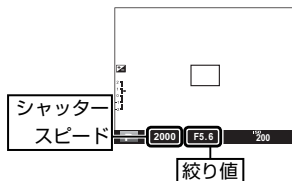
表示画面に **P** が表示されます。



- ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。

● プログラムシフトの設定

コマンドレバーを左右に倒すか、コマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。



- ① 次のとき、プログラムシフトは使用できません。

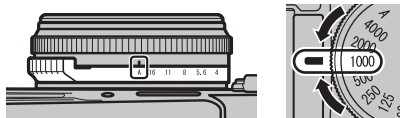
- フラッシュを使用しているとき
- 撮影メニューの **D-Range** ダイナミックレンジが **AUTO** のとき (87)
- **ISO 感度** が **AUTO** のとき (56)

撮影モードを変更したい

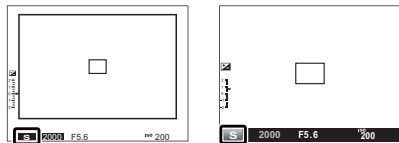
シャッタースピード優先 AE (S)

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。

シャッタースピード優先 AE で撮影するには、レンズの絞り設定を **A**、シャッタースピードダイヤルを撮影したいシャッタースピードに設定します。



表示画面に **S** が表示されます。



OVF 画面

EVF/LCD 画面

- ◆ コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを $\frac{1}{3}$ 段刻みで微調整できます。

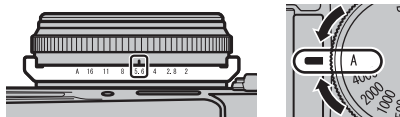


- ① 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
- ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「---」と表示されます。

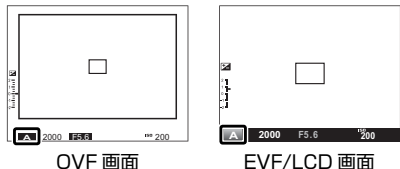
絞り優先 AE (A)

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。

絞り優先 AE で撮影するには、シャッタースピードダイヤルを **A** に、レンズの絞りを撮影したい絞り値に設定します。



表示画面に **A** が表示されます。



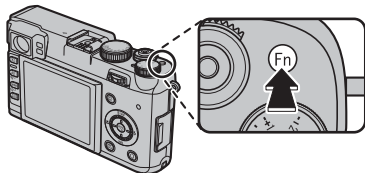
◆ コマンドレバーを左右に倒すと、絞り値を $\frac{1}{3}$ 段刻みで微調整できます。



- ① 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- ① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。
- ① **OVF 撮影枚数 UP** (108) が **ON** のときは、最長シャッタースピードは $\frac{1}{4}$ 秒になります。

● 被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、撮影メニューの **Fn** ボタン設定を **被写界深度確認** に設定します。設定後 **Fn** (ファンクション) ボタンを押すと、そのときの絞り値の被写界深度が確認できます。

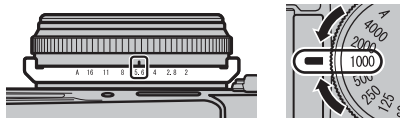


撮影モードを変更したい

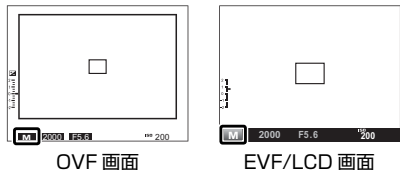
マニュアル露出 (M)

マニュアル露出では、シャッタースピードや絞り値も撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。

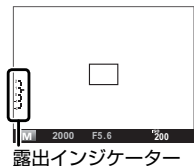
マニュアル露出で撮影するには、露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。レンズの絞りを設定したい絞り値に、シャッタースピードを撮影したいシャッタースピードに設定します。



表示画面に **M** が表示されます。



- ◆ マニュアル露出では、常に露出インジケータが表示されます。



- ◆ コマンドレバーを左右に倒すと、絞り値を $\frac{1}{3}$ 段刻みで微調整できます。
- ◆ コマンドダイヤルを回すと、シャッタースピードを $\frac{1}{3}$ 段刻みで微調整できます。



絞りとシャッタースピードを適切に設定する

このカメラはレンズシャッター方式のため、絞りによっては、高速側で適正なシャッタースピードが得られないことがあります。

絞り値	シャッタースピード			
	1/4000	1/2000	1/1000	1/500～
F2	—	—	○	○
F2.8	—	—	○	○
F4	—	○	○	○
F5.6	—	○	○	○
F8	○	○	○	○
F11	○	○	○	○
F16	○	○	○	○

表示が一のときは、絞りまたはシャッタースピードの値が赤くなり、適正な露出が得られていないことを示しています。

長時間露出で撮影したい

シャッタースピードダイヤルでタイム撮影 (T) またはバルブ撮影 (B) を選択すると、長時間露光撮影ができます。

◆ カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

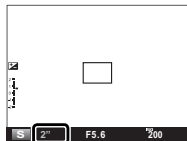
タイム撮影 (T)

1 シャッタースピードダイヤルを T に合わせます。



2 コマンドダイヤルを回して、露光時間を設定します。

½ ~ 30 秒の範囲で ½ 段刻みで設定します。



3 シャッターボタンを全押しすると、設定した時間シャッターが開きます。



◆ 撮影中は、露光時間がカウントダウンで表示されます。

バルブ撮影 (B)

1 シャッタースピードダイヤルを B に合わせます。



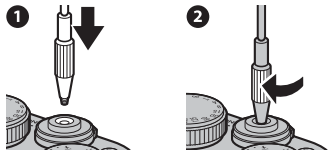
2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。
シャッターが開くのは、最大 60 分間です。



- ◆ 撮影中は、経過時間が表示されます。
- ◆ 絞りを A に設定している場合は、シャッタースピードは 30 秒に固定されます。
- ◆ 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、 長秒時ノイズ低減を ON (89) にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

市販のリモートリリースを使用する

市販のリモートリリースは次のように取り付けることができます。

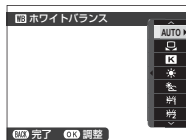


ホワイトバランスを変更したい

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

1 WB (▼) ボタンを押します。

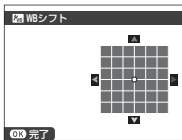
ホワイトバランスの設定画面が表示されます。



2 ▲▼ でホワイトバランスを選びます。



- **MENU/OK** を押すと、**WB** シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。**▲▼◀▶** でホワイトバランスのシフト量を調整します。
- **DISP/BACK** を押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。



◆ ホワイトバランスは **Q** ボタン (クイックメニュー) から設定できます。

■ ホワイトバランスの設定

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを測定します (54)。
K	色温度を設定します (55)。
	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などでの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。
	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。

- ◆ 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- ◆ フラッシュ発光時は、**AUTO**/ 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください (40)。


ホワイトバランスを変更したい

■ カスタムホワイトバランスを設定する

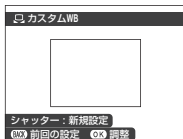
自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

メモ：カスタムホワイトバランスの活用例

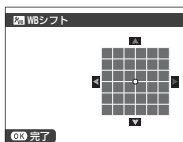
白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1 ホワイトバランスの設定画面から  を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。



◆ MENU/OK ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。

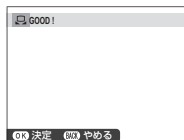


3 シャッターボタンを全押しして設定します。

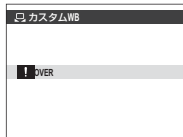



◆ 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

4 「GOOD!」と表示されたら、MENU/OK ボタンを押して決定します。



「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。



「OVER」と表示されたときは-（マイナス）側に、「UNDER」と表示されたときは+（プラス）側に露出補正（ 63）してから、再度測定してください。

■ K 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

📖 メモ：色温度の活用例

色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。

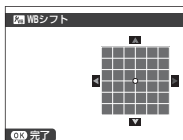
1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度の一覧が表示されます。



2 ▲▼ で色温度を選び、MENU/OK を押します。

WB シフト画面が表示されます。



◆ シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に **DISP/BACK** を押してください。

3 ▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。



4 MENU/OK を押します。

色温度が設定されます。



🔴 色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤みを帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。



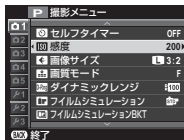
ISO 感度を変更したい

光に対する感度を **100 ~ 25600** の間で変更できます。

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



- 2** ▲▼ で ISO 感度を選び、MENU/OK ボタンを押します。
ISO 設定画面が表示されます。



- ◆ 初期設定では、Fn (ファンクション) ボタンを押しても ISO 感度の設定画面が表示されません。

- 3** ▲▼ で ISO 感度の設定値を選びます。

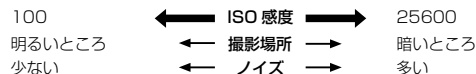


設定	説明
AUTO	被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます。
6400 ~ 200	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
H (25600) H (12800) L (100)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。

- ◆ 拡張感度を選択できる条件は、「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください (P147)。
- ◆ 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。
- ◆ 拡張感度 (L (100)) のときに、画質モード (P87) を RAW、FINE+RAW、NORMAL+RAW に設定すると、感度は自動的に 200 になります。
- ◆ 拡張感度 (H (12800))、(H (25600)) のときに、画質モード (P87) を RAW、FINE+RAW、NORMAL+RAW に設定すると、感度は自動的に 6400 になります。

ISO 感度の設定について

感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。



AUTO 設定について

AUTO を選ぶと、以下の項目を設定できます。

設定	工場出荷時
基準 ISO 感度	200
上限 ISO 感度	800
低速シャッター限界	1/60

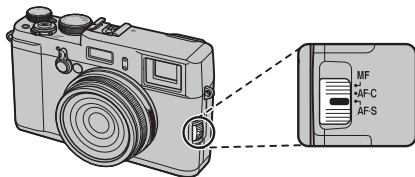
基準 ISO 感度と上限 ISO 感度を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、低速シャッター限界では、ISO 感度が自動で切り換わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。

- ◆ 上限 ISO 感度よりも基準 ISO 感度を高く設定している場合は、上限 ISO 感度で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- ◆ 基準 ISO 感度と上限 ISO 感度の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、低速シャッター限界で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。

ピントに関する設定を変更したい

ピント合わせの方法を変更（フォーカスモード）

フォーカスモード切換レバーで、ピント合わせの方法を変更できます。



設定	説明
MF (マニュアルフォーカス)	ピントを手動で合わせたいときに使用します。オートフォーカスの苦手な被写体(図62)を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します。
AF-C (コンティニュアスAF)	シャッターボタンを押さなくても常にピントを合わせ続けるため、動きのある被写体の撮影に適しています。バッテリーの消費が大きくなるため、バッテリー残量にご注意ください。
AF-S (シングルAF)	スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。

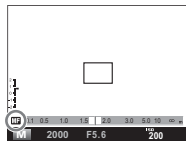
● マニュアルフォーカス時の AFL/AEL ボタンについて

AFL/AEL ボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。素早くピントを合わせたいときに便利です。この機能は、マニュアルフォーカスのときのみ使用できます。

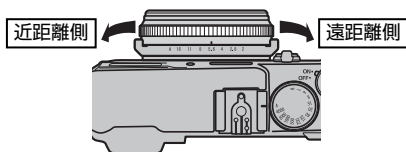
M（マニュアルフォーカス）での撮影方法

- 1 フォーカスモード切換レバーで MF を選びます。

画面に MF が表示されます。

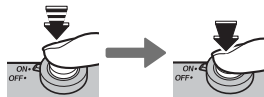


- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



◆ フォーカスリングを回す方向は、セットアップメニューの フォーカスリング (図105) で設定できます。

- 3 撮影します。



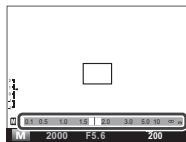
◆ フォーカスリングを回し続けると、無限遠を超えたフォーカス位置になり、ピントが合わなくなる場合があります。

ピントの確認方法

ピントの確認には、2種類の方法があります。

■ 距離指標を目安にする

赤いバーはピントの中心値を、白いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、セットアップメニューの **距離指標の単位** (106) でメートルとフィートを切り換えられます。



ピントの中心値
(赤いバー)



被写界深度

■ ファインダーに表示された画像で確認する (EVF/LCD)

ピントの確認方法を **MFアシストのデジタルスプリットイメージ** または **フォーカスピーキング** から選べます (91)。

◆ コマンドレバーの中央を長押しすると、**MFアシスト** の設定を切り換えることができます。

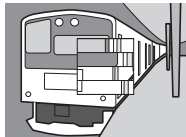
フォーカスピーキング

コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



デジタルスプリットイメージ

画面中央部に白黒のスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回してフォーカスを調整してください。



◆ 拡大表示してピントを確認する (フォーカスチェック)

EVF/LCD 表示時に、**MFフォーカスチェック** (105) を **ON** にすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。拡大表示する位置は、**AF** 選択ボタンを押して、コマンドダイヤルを回して設定できます。



通常表示



拡大表示

◆ **MFアシスト** の設定が **スプリットイメージ** と **フォーカスピーキング** または **スタンダード** では、拡大表示倍率が異なります。

ピントに関する設定を変更したい

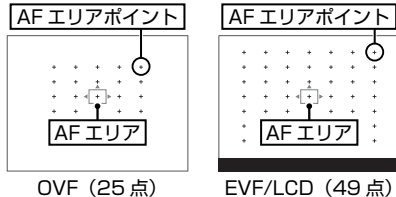
ピント合わせのエリアを変更 (AF エリア選択)

フォーカスモードを **AF-S** に設定し、撮影メニューの **AF モード** で **エリア選択** を選択している場合、**AF 選択** ボタンを押すと、ピント合わせのエリアを変更できます。

AF (▲) ボタンを押すと、AF エリア選択の設定画面が表示されます。



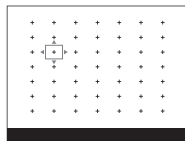
AF エリアポイント (+) と AF エリアが表示されます。AF エリアポイントの数は OVF と EVF/LCD で異なります。



- ① OVF と EVF/LCD 切り換え時は、EVF/LCD 画面最外周の AF エリアは、自動的に OVF 画面最外周の AF エリアに移動します。

■ AF エリアの選択 / 移動

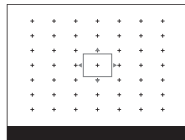
▲▼◀▶ でピントを合わせたい位置に AF エリアを移動します。



- ◆ **DISP/BACK** ボタンを押すと、AF エリアが中央に戻ります。
- ◆ **MENU/OK** ボタンを押すと、AF エリアの位置が設定されます。

■ AF エリアの拡大 / 縮小

EVF/LCD の場合、コマンドレバーを左右に倒すと、AF エリアのサイズが選べます。



- ◆ 左に倒すとサイズが小さく (最小 50%)、右に倒すとサイズが大きく (最大 150%) になります。コマンドレバーの中央を押すと、100%に戻ります。
- ◆ **DISP/BACK** ボタンを押すと、AF エリアが中央に戻ります。
- ◆ **MENU/OK** ボタンを押すと、AF エリアの位置が設定されます。

① OVF 時にはサイズの変更はできません。

AE/AF ロック撮影したい

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

- 1** ピントを合わせたい被写体に AF フレームを合わせます。



- 2** シャッターボタンを半押しします。被写体にピントと露出が合い、AF フレームが緑点灯します。



◆ シャッターをきる前なら、AE/AF ロックは何度でもやり直せます。

- 3** 半押ししたまま構図を変えます。被写体との距離は変えないでください。



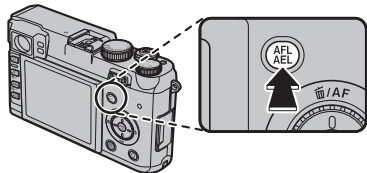
- 4** そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。



AE/AF ロック撮影したい

● AFL/AEL ボタンを使う

AFL/AEL ボタンを押しても、AE/AF ロックできます。



- ◆ AFL/AEL ボタンで AE/AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
- ◆ 撮影メニューの **AE/AF-LOCK 機能選択** (p.93) で AFL/AEL ボタンの機能を次のように設定できます。

設定	説明
AE LOCK のみ (初期設定)	露出が固定 (AE ロック) されます。
AF LOCK のみ	ピントが固定 (AF ロック) されます。
AE+AF LOCK	ピントと露出の両方が固定されます。

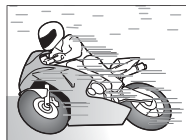
- ◆ 撮影メニューの **AE/AF-LOCK 設定を押下切替**にすると (p.93)、AFL/AEL ボタンを放しても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。
- ◆ マニュアルフォーカス時は **AFL/AEL** ボタンを押しても、AE ロックできません。

● オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。



鏡や車のボディなど
光沢のあるもの



高速で移動する
被写体

その他のオートフォーカスの苦手な被写体：

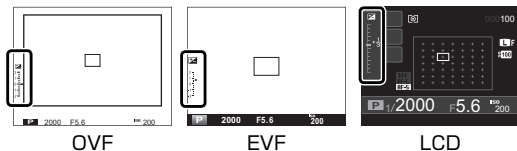
- ・ ガラス越しの被写体
- ・ 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- ・ 煙や炎などの実体のないもの
- ・ 背景との明暗差が少ないもの (背景と同色の服を着ている人物など)
- ・ AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合 (コントラストの強い背景の前の被写体など)

露出を補正したい

露出補正ダイヤルを回すと、画像の明るさを調整できます。



露出補正バー



OVF

EVF

LCD

+補正

(暗い画像を明るくします)



-補正

(明るい画像を暗くします)



① OVFを使用しているときは、露出補正バーで確認してください。

● 露出補正の目安

・逆光の人物撮影：
+ $\frac{1}{3}$ EV ~ +1EV



・スキー場などの反射が強く明るい場所：+1EV



・画像の大部分を空が占める場合：+1EV

・スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合：
- $\frac{1}{3}$ EV

・常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：- $\frac{1}{3}$ EV

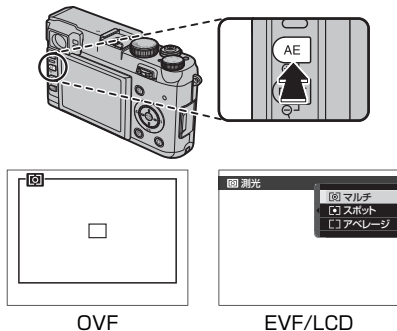
● EVとは

露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムや画像素子などの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することにより画像素子に与える光量を一定にしています。画像素子に与えられる光量が2倍になるとEV値は+1、半分になるとEV値は-1変化します。

明るさの測定方法を変更したい（測光モード）

AE 選択ボタンを押すと、カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使います。





- 1** AE 選択ボタンを押します。
測光モードの設定画面が表示されます。



- 2** ▲▼で測光モードの設定値を選びます。

- AE 選択ボタンを押すと測光モードが設定されます。



設定	説明
 (マルチ)	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  (マルチ) をおすすめします。
 (スポット)	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときに使います。
 (アベレージ)	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使います。

セルフタイマーを使って撮影したい

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「10秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐ「2秒後撮影」の2種類のセルフタイマーを搭載しています。セルフタイマーは、すべての撮影モードで使えます。

- 1** 撮影画面で **MENU/OK** を押します。
撮影メニューが表示されます。



- 2** ▲▼ でセルフタイマーを選び、**MENU/OK** を押します。



セルフタイマーの設定画面が表示されます。



- ☺ : 2秒後撮影
☺☺ : 10秒後撮影
OFF : セルフタイマー OFF

- 3** ▲▼ でセルフタイマーを設定します。



- 4** **MENU/OK** を押します。
セルフタイマーが設定されます。

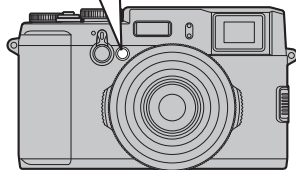
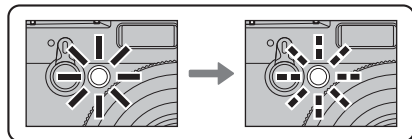


シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーが開始します。画面には、シャッターが切れるまでの秒数が表示されます。



タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

- ① シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならないことがあります。
- ① セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。
- ◆ ☺☺ (10秒後撮影) では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。☺ (2秒後撮影) では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。




いろいろな仕上がりの画像を撮影したい

フィルムシミュレーション

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。






- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。









- 2** ▲▼ で  フィルムシミュレーションを選び、MENU/OK ボタンを押します。
フィルムシミュレーション設定画面が表示されます。



- 3** フィルムシミュレーションの設定値を選びます。
フィルムシミュレーションの設定値は以下のとおりです。

設定	説明
 PROVIA/ スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
 Velvia/ ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
 ASTIA/ ソフト	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
 PRO Neg. Hi	 PRO Neg. Std に比べて階調をやや硬めにしています。屋外でのポートレートに適しています。

設定	説明
 PRO Neg. Std	全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適したモードです。
 モノクロ (フィルターなし)	モノトーン表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適しています。
 モノクロ + Ye フィルター	被写体のコントラストをやや強調した表現に適しています。青空が少し濃くなります。
 モノクロ + R フィルター	被写体のコントラストを強調した表現に適しています。青空が濃くなります。
 モノクロ + G フィルター	唇や肌などの調子が出る階調表現で、ポートレートに適しています。
 セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気表現に適しています。

- 4** MENU/OK を押します。
フィルムシミュレーションが設定されます。



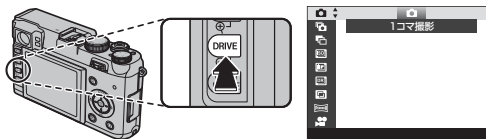
- ◆ フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です (88)。

ブラケティング撮影

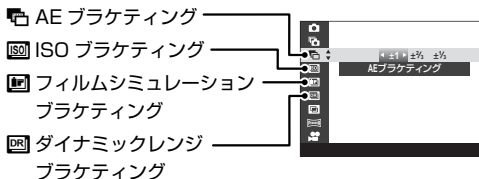
一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影ができます。ブラケティングは、**DRIVE** ボタンを押して表示されるドライブ設定画面から選択します。

1 DRIVE ボタンを押します。

ドライブ設定画面が表示されます。



2 ▲▼ で使用したいブラケティングの種類を選びます (頁 68)。



3 設定値を選べるブラケティングの場合、◀▶ で設定を選びます。

設定値がない場合、手順 4 に進みます。



4 MENU/OK を押します。

ブラケティングの種類と設定が決定されます。



5 構図を決めてピントを合わせます。



6 シャッターボタンを押します。



いろいろな仕上がりの画像を撮影したい


AEブラケットング

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。

設定	説明
± 1	露出を 1EV ずつ変更しながら撮影します。
± %	露出を %EV ずつ変更しながら撮影します。
± 1/3	露出を 1/3EV ずつ変更しながら撮影します。




① アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定した設定値きざみで撮影されません。

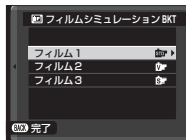
ISOブラケットング

撮影した 1 枚の画像から、ISO 感度（ 56）を変化させて 3 枚の画像を作成します。ISO 感度の変化する段階は、設定感度 ISO200 ~ 6400 までの間で 1/3 段ずつステップ幅を変更できます。


設定	説明
± 1	ステップを 1 段に設定します。
± %	ステップを 2/3 段に設定します。
± 1/3	ステップを 1/3 段に設定します。

フィルムシミュレーションブラケットング

撮影した 1 枚の画像から、フィルムシミュレーション（ 66）の設定を  フィルムシミュレーション BKT で選んだ設定（ 87）に変化させて 3 枚の画像を作成します。



ダイナミックレンジブラケットング

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジ（ 87）の設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3コマ連続で撮影します。

◆ 感度は自動的に ISO800 以上になります。ダイナミックレンジブラケットングを解除すると、感度は元の設定に戻ります。

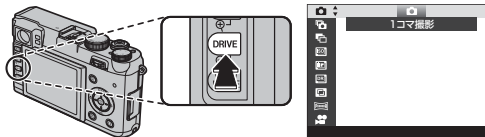
画像を重ね合わせて撮影（多重露出撮影）

2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します。



1 DRIVE ボタンを押します。

ドライブ設定画面が表示されます。



2 ▲▼で 多重露出を選び、MENU/OK を押します。

撮影画面になります。



3 1枚目の画像を撮影します。



4 MENU/OK を押します。

2枚目の撮影画面が表示されます。



- ◆ 1枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。
- ◆ DISP/BACK を押すと、1枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。

5 2枚目の画像を撮影します。



6 MENU/OK を押します。

2枚の画像を合成した画像が保存されます。



- ◆ 2枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。

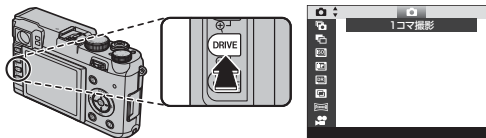
連写画像を撮影・再生したい

連続撮影（連写）

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

1 DRIVE ボタンを押します。

ドライブ設定画面が表示されます。



2 ▲▼ で連写を選びます。

連写設定画面が表示されます。

- 6.0fps : 1秒間に約6コマ撮影
- 3.0fps : 1秒間に約3コマ撮影



3 ◀▶ で連写コマ数を選びます。



4 MENU/OK を押します。

連写が設定されます。



5 構図を決めてピントを合わせます。



6 シャッターボタンを押します。

シャッターボタンを押し続けている間、各連写設定に応じたコマ数で連続撮影します。

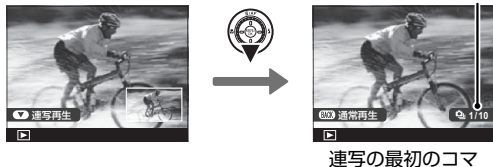


- ① 連写中にファイル No. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます (P105)。
- ① 連写中に内蔵メモリーやメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- ① 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- ① ピントや露出は 1 コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
- ① シャッタースピードにより連写速度は変わります。
- ① フラッシュは使用できません。ただし、通常に撮影すると、連写前に使用していたフラッシュ設定に戻ります。
- ① 連続撮影では、撮影したファイルを記録する時間が長くなることがあります。

連写画像の再生

1 コマ再生時に連写画像を選択して ▼ を押すと、連写の最初のコマが表示できます。

現在表示中の連写コマ NO./
連写画像の合計コマ数



連写再生画面の次のコマを見るには ▶ を押します。前のコマを見るには ◀ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。



1 コマ再生画面に戻るには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

- ◆ 連写の最後のコマ表示時に ▶ を押すと、最初のコマに戻ります。連写の最初のコマ表示時に ◀ を押すと、最後のコマが表示されます。

- ◆ 1 コマ再生画面で連写を選択して以下の操作を行った場合、連写のすべてのコマにその操作が実行されます。

- 消去 (P.97)
- 画像回転 (P.99)
- プロテクト (P.98)
- 画像コピー (P.99)

連写再生画面で 1 つのコマに操作を行った場合は、そのコマにのみ操作は実行されます。

● フォルダをまたがって記録された連写について
フォルダをまたがって記録された場合は、別の連写画像として記録されます。

● 撮影時の情報確認について
連写画像の撮影情報を確認する場合は、連写再生画面で 1 コマの画像を表示してから確認してください (P.35)。

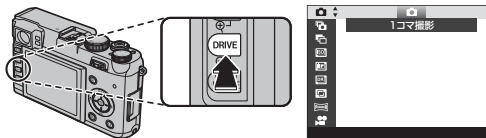
パノラマ画像を撮影・再生したい

ぐるっとパノラマモード撮影

カメラを動かして撮影した複数の画像を合成し、高画質な 1 枚のパノラマ写真を作成します。

1 DRIVE ボタンを押します。

ドライブ設定画面が表示されます。



2 ▲▼ で [PANO] でぐるっとパノラマを選びます。



3 MENU/OK を押します。 撮影画面が表示されます。



4 撮影する角度（撮影画角）を選びます。 ◀ で撮影画角変更画面を表示させ、撮影する画角の大きさ（180/120）を選び、MENU/OK ボタンを押します。



5 撮影方向を選びます。

▶ で撮影方向変更画面を表示させ、撮影する方向を選び、MENU/OK ボタンを押します。

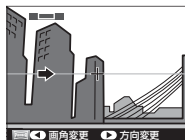


6 シャッターボタンを全押しします。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。



7 矢印方向にカメラを動かします。



ガイドの終端までカメラが動くと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。

◆ 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が保存されないことがあります。

● うまく撮影するには

- 一定の速度でゆっくりと小さな円を描くようにカメラを動かします。
- ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。

◆ 画像サイズは、撮影画角と撮影方向によって異なります。

設定	ピクセル数
120 横	6440×1440
120 縦	2160×6440
180 横	9600×1440
180 縦	2160×9600

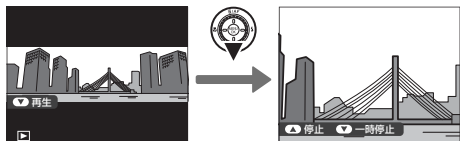
- ① 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- ① 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- ① 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- ① カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- ① 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- ① 以下の場合はぐるっとパノラマ撮影には適していません。
 - 被写体が動いている
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる
 - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
 - 波や滝など常に模様に変化する風景
 - 明るさが大きく変動するシーン
- ① 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。

パノラマ画像を撮影・撮影したい

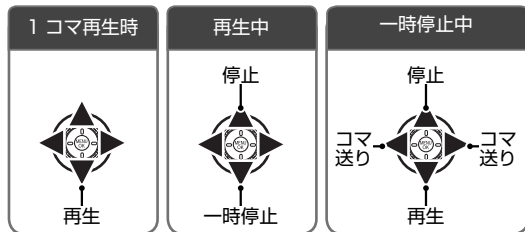
パノラマ画像の再生

1 コマ再生時にパノラマ写真を選択して ▼ を押すと、パノラマ写真を再生できます。

横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。




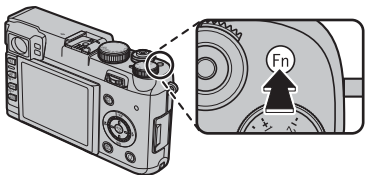
■ パノラマ再生時の操作方法について



RAW 画像を撮影・現像したい


RAW 画像の撮影

撮影メニューの  画質モード (87) で JPEG を選択していても、Fn ボタンに RAW を割り当てておくこと (82)、Fn ボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます。



設定されている画質モード	Fn ボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE

再度 Fn ボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定 (左列) に戻ります。

- ◆ RAW 画像とは、撮像素子から得られる非圧縮の生データのことです。
 - ◆ 撮影した RAW 画像は、パソコンで画像を再構成するほか、再生メニューの  RAW 現像 (76) でさまざまな設定を行ってから JPEG に保存 (現像) できます。
- ① パソコンで RAW 画像を現像するには、パソコンに RAW FILE CONVERTER がインストールされている必要があります。付属のソフトウェアをインストールしてください (111、113)。
 - ① 画質モードが RAW、FINE+RAW、NORMAL+RAW のときは、拡張感度 (56) は設定できません。

RAW 画像を撮影・現像したい

RAW 画像の現像（カメラ内 RAW 現像）

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

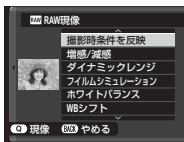
- 1** 再生時に **MENU/OK** ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。



- 2** ▲▼ で **RAW** RAW 現像を選びます。



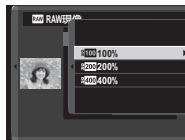
- 3** **MENU/OK** ボタンを押します。
設定できる機能の一覧が表示されます。



- 4** ▲▼ で変更する項目を選びます。



- 5** ▶ で設定の変更に移ります。



- 6** ▲▼ で設定を変更します。



- 7** **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。
手順 3 の画面に戻ります。手順 7 までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。



- 8** **Q** ボタンを押します。
保存する JPEG ファイルのプレビューが表示されます。



- 9** **MENU/OK** ボタンを押します。
JPEG 画像が保存されます。

**Q ボタン**

再生時に **Q** ボタンを押すと、**RAW** RAW 現像を表示できます。

■ RAW 現像設定項目一覧

メニュー項目	機能	設定	📖
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。	—	—
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。	- 1EV ~ + 3EV まで ½EV ステップ	63
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たまに近い写真を撮影できます。	📷100 / 📷200 / 📷400	87
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。	📷STP / 📷V / 📷S / 📷NR / 📷NS / 📷B / 📷G / 📷R / 📷C / 📷A	66
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。	AUTO / 📷☐ / 📷📷 / 📷🌞 / 📷🌅 / 📷🌄 / 📷🌆 / 📷🌃 / 📷🏠	53
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。	- 9 ~ + 9	53
カラー	撮影時の画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは濃いに、薄くしたいときは薄いに設定します。	濃い / やや濃い / 標準 / やや薄い / 薄い	88
シャープネス	撮影時の画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。	HARD / M-HARD / STD / M-SOFT / SOFT	88
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。	HARD / M-HARD / STD / M-SOFT / SOFT	88
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。	HARD / M-HARD / STD / M-SOFT / SOFT	88
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。	強 / やや強 / STD / やや弱 / 弱	88
色空間	画像に適用する色空間を設定します。	sRGB / Adobe RGB	108

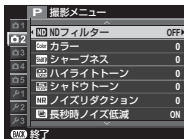
ND フィルターを使う

カメラに内蔵された ND フィルターを使用すると、光量を3段分減らすことができます。明るい場所でもシャッタースピードを遅くしたり、絞りを開いたりできるようになります。スローシャッターでは動きのある写真が、絞りを開いた設定では背景ボケを活かした写真が撮影できます。

- 1** 撮影画面で **MENU/OK** を押します。
撮影メニューが表示されます。



- 2** ▲▼で **ND ND フィルター** を選び、**MENU/OK** を押します。



- 3** ▲▼で **ON** または **OFF** を選びます。



- 4** **MENU/OK** を押します。
ND フィルターが設定されます。




画像を検索したい

ピクチャーサーチで画像を検索できます。

ピクチャーサーチ

- 1** 再生時に **MENU/OK** ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。



- 2** ▲▼ で  ピクチャーサーチを選び、
MENU/OK を押します。



- 2** 検索条件を選びます。
以下の条件から選びます。

検索条件	内容
日付で検索	指定した撮影日の画像を表示します。
顔で検索	指定した顔の情報の画像を表示します。
★お気に入り で検索	指定した ★ お気に入りランクの画像を表示します (p.34)。
画像タイプで 検索	静止画 / 動画 / 連写 / RAW のタイプ別に表示します。
アップロード 先で検索	アップロード先を選んで画像を表示します。





- 3** **MENU/OK** ボタンを押します。



- 4** 検索条件を絞り込みます。

絞り込む条件を選ぶと、条件に合った画像だけが表示されます。






- ◆ サーチ画面を表示した状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、サーチ画像に対する再生メニューが表示され、各操作を実行できます。操作方法は参照ページをご覧ください。


メニュー	
 消去	97
 プロテクト	98
 スライドショー	100

フォトブックを作成したい

フォトブックアシストでフォトブックを作成できます。

フォトブックアシスト

- 1 再生時に **MENU/OK** ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。
- 2 ▲▼で  フォトブックアシストを選び、**MENU/OK** を押します。
- 3 新規 **BOOK** を選び、**MENU/OK** を押します。
フォトブックの新規作成画面が表示されます。
- 4 フォトブックを作成する画像の選択方法を選びます。
全画像から選択：保存されているすべての画像から1枚ずつ選択できます。
サーチして選択：指定した条件で検索した画像から選択できます (P.79)。
▼ **640** 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 5 画像を選択します。
▲ で表示されている画像を選択または選択解除します。
▼ で表示されている画像を表紙にします。
▼ 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更することもできます。

- 6 画像の選択が終わったら、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 7 作成終了を選びます。

▼ 全て選択を選ぶと、全画像またはサーチ結果のすべての画像が、フォトブック作成中の画像として選択されます。

- 8 **MENU/OK** を押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。

- ① フォトブックで選択できる画像は300枚までです。
- ① 画像が1枚も選択されていないフォトブックは削除されません。

●● 作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、付属のソフトウェア「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭でカンタンに注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。

◀または▶で次や前の画像に移動できます。



作成したフォトブックを編集 / 削除する

1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** を押します。



2 編集または削除を選びます。

編集：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです (80)。

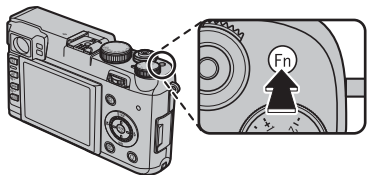
削除：表示されているフォトブックを削除できます。

3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

ファンクション (Fn) ボタンに機能を割り当てたい

Fn ボタン設定

Fn (ファンクション) ボタンには機能を 1 つ割り当てられます。Fn ボタンを押すだけで機能を切り換えたり、設定画面を呼び出したりできます。



Fn ボタンの割り当ては、撮影メニューの **Fn Fn ボタン設定** で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- アドバンスフィルター (92)
 - 多重露出 (69)
 - 被写界深度確認 (49)
 - ISO 感度 (56)
 - セルフタイマー (65)
 - 画像サイズ (86)
 - 画質モード (87)
 - ダイナミックレンジ (87)
 - フィルムシミュレーション (66)
 - ND フィルター (78)
 - AF モード (92)
 - カスタム選択 (83)
 - 動画 (95)
 - RAW (75)
 - ワイドコンバージョンレンズ (127)
- ◆ **Fn Fn ボタン設定画面**は Fn ボタンを長押ししても呼び出せます。

撮影の設定を保存したい

撮影メニューの設定を組み合わせせて保存できます。

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



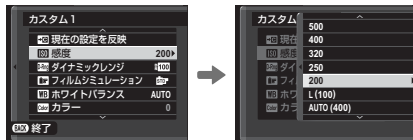
- 2** ▲▼で [カスタム登録/編集] を選び、
MENU/OK ボタンを押します。



- 3** 設定を保存したい場所をカスタム1～3から選び、MENU/OK ボタンを押します。

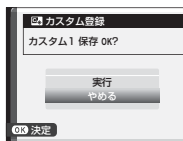


- 4** カスタムに保存できる項目は次のとおりです。個別に設定を変更することが可能です。

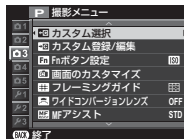


ISO 感度	56	シャープネス	88
ダイナミックレンジ	87	ハイライトトーン	88
フィルムシミュレーション	66	シャドウトーン	88
ホワイトバランス	53	ノイズリダクション	88
カラー	88		

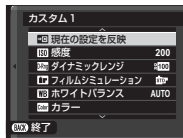
- 5** DISP/BACK ボタンを押すと、確認画面が表示されます。実行を選んで MENU/OK ボタンを押すと、設定が保存されます。



保存した設定は、撮影メニューの [カスタム選択] で呼び出せます。



- 現在の設定を反映を選択して MENU/OK ボタンを押すと、現在の設定がカスタム1～3に上書きされます。



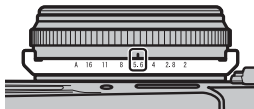
- リセットを選択して MENU/OK ボタンを押すと、カスタム1～3の設定を初期状態に戻します。

設定を変更して動画を撮影したい

背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。

レンズの絞りを **A** 以外に設定すると、絞り優先 AE を反映した動画が撮影できます。動画撮影前に絞りを設定してください。



① 絞り値が赤色で表示されているときは、適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。

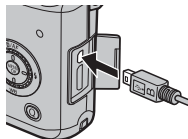
動画設定を変更するには


動画撮影を開始する前に、絞り値 (図 49)、フォーカスモード (図 58)、露出補正 (図 63) の設定を変更できます。動画撮影中は変更できません。

◆ 動画撮影時に変更できるメニューについては、「動画撮影メニュー一覧」をご覧ください (図 95)。

動画の音声録音について

このカメラでは、動画撮影時に別売の外部マイク MIC-ST1 を使用できます。マイクに同梱されている変換ケーブルを使用して、USB マルチコネクタに外部マイクを取り付けてください。



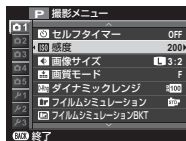
- ◆ 詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。
- ◆  マイクレベル設定 で音量を調整できます (図 95)。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。



- 2** ▲▼ で変更する項目を選びます。



- 3** ▶ で設定の変更に移ります。



- 4** ▲▼ で設定を変更します。



- 5** MENU/OK ボタンを押して、決定します。



- 6** DISP/BACK ボタンを押して、撮影画面に戻ります。



撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影メニュー一覧

◆ メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

 セルフタイマー

(工場出荷時：OFF)

セルフタイマーを使用できます (p.65)。

 ISO 感度


(工場出荷時：200)










光に対する感度を変更できます (p.56)。


 画像サイズ

(工場出荷時：L 3:2)

記録する画像の大きさを変更できます。現在の設定で撮影可能な枚数 (p.146) が、画面のピクセルアイコンの右側に表示されます。

◆  画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。

設定	用途例
 3:2	A3、四切 (254mm×305mm)、四切 W サイズ程度で印刷する場合に適しています。
 16:9	
 1:1	
 3:2	六切 (203mm×255mm)、A4 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
 16:9	
 1:1	
 3:2	DSC (89mm×119mm)、L (89mm×127mm)、A6 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
 16:9	
 1:1	

 画像の縦横比について

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設定	説明
3:2	画像の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3:2 になります。
16:9	画像の縦横比が 16:9 になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。
1:1	正方形の比率です。

画質モード

(工場出荷時：FINE)


用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
FINE	圧縮率が低いため画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率が高いため撮影枚数を優先するモードです。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

ダイナミックレンジ

(工場出荷時：#100)

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。

設定	おすすめ用途	
AUTO (自動調整)	#100 100%	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。
	#200 200%	
	#400 400%	

- ① ダイナミックレンジが広がるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。
- ◆ ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、シャッターボタンを半押しすると、絞りとシャッタースピードが表示されます。
 - ◆ #200 200% は感度が ISO400 以上、#400 400% は ISO800 以上のときに設定できます。

フィルムシミュレーション

(工場出荷時：PROVIA)

撮影する画像の発色や階調を変更できます (66)。

フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーションブラケティングで撮影するフィルムシミュレーションの設定を変更できます (68)。

ND フィルター

(工場出荷時：OFF)

ND フィルターの **ON/OFF** ができます (78)。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

Color カラー

(工場出荷時：標準)

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは**濃い**に、薄くしたいときは**薄い**に設定します。

設定：(+2)濃い/(+1)やや濃い/(0)標準/(-1)やや薄い/(-2)薄い

Sharp シャープネス

(工場出荷時：スタンダード)

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは**ハード**に、ソフトにしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：(+2)ハード/(+1)ミディアムハード/(0)スタンダード/(-1)ミディアムソフト/(-2)ソフト

High ハイライトトーン

(工場出荷時：スタンダード)

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは**ハード**に、軟らかくしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：(+2)ハード/(+1)ミディアムハード/(0)スタンダード/(-1)ミディアムソフト/(-2)ソフト

Low シャドウトーン

(工場出荷時：スタンダード)

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは**ハード**に、軟らかくしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：(+2)ハード/(+1)ミディアムハード/(0)スタンダード/(-1)ミディアムソフト/(-2)ソフト

NR ノイズリダクション

(工場出荷時：スタンダード)

高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは**強**に、画像の輪郭を残したいときは**弱**に設定します。

設定：(+2)強/(+1)やや強/(0)スタンダード/(-1)やや弱/(-2)弱

長秒時ノイズ低減

(工場出荷時：ON)

ON にすると、長時間露光撮影時 (82) のノイズを低減できます。

設定：ON/OFF

カスタム選択

カスタム登録 / 編集で保存した設定を呼び出せます。

設定：カスタム 1 / カスタム 2 / カスタム 3

カスタム登録 / 編集

自分好みの撮影メニューの設定を組み合わせて保存できます (83)。

Fn ボタン設定

(工場出荷時：ISO 感度)

Fn (ファンクション) ボタンに割り当てる機能を設定できます (82)。

画面のカスタマイズ

OVF または EVF/LCD 時に、ファインダーまたは液晶モニターに表示する情報を設定します。

- 1 撮影メニューで **画面のカスタマイズ** を選びます。
- 2 OVF または EVF/LCD を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

画面に表示する項目は、 が表示されます。 が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

フレーミングガイド*	絞り / シャッター速度 / ISO	フィルムシミュレーション
電子水準器	露出補正バー	ダイナミックレンジ
AF 時の距離指標	測光	撮影可能枚数
MF 時の距離指標	フラッシュ	画像サイズ & 画質モード
ヒストグラム	ホワイトバランス	バッテリー残量表示

* フレーミングガイドの種類を選択できます (p.91)。

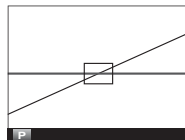
- 4 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。
設定が保存されます。

◆ 表示される場所は p.14 をご覧ください。

●● 電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。




◆ カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。



フレミングガイド

(工場出荷時：方眼 9 分割)

撮影時のフレミングガイドの種類を設定できます。

設定	方眼 9 分割	方眼 24 分割	HD フレミング
説明	縦横にガイド線が表示されます (9 コマ)。	縦横にガイド線が表示されます (24 コマ)。	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。
イメージ			

ワイドコンバージョンレンズ

(工場出荷時：OFF)

別売の専用ワイドコンバージョンレンズを使用するときは、ON にしてください (127)。

MF アシスト

(工場出荷時：スタンダード)

マニュアルフォーカス時のピント確認方法を設定します (59)。














設定	説明
スタンダード	通常表示です (デジタルスプリットイメージ / フォーカスピーキング機能を使用しません)。
デジタルスプリットイメージ	白黒のスプリットイメージを表示します。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。ピーキングのレベルは弱または強から選べます。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

 アドバンストフィルター

(工場出荷時：OFF)

さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます。以下のフィルター効果を選べます。

アドバンストフィルター	効果
 トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
 ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
 ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
 ハイキー	全体の階調表現を明るくし、コントラストを抑えます。
 ローキー	全体を暗く落ち着かせつつ、ハイライト部を強調します。
 ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
 ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え柔らかな雰囲気を与えます。
 パートカラー (レッド)	特定の色域 (カッコ内の色) だけを残し、残りをモノクロにします。
 パートカラー (オレンジ)	
 パートカラー (イエロー)	
 パートカラー (グリーン)	
 パートカラー (ブルー)	
 パートカラー (パープル)	

◆ 被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色みにならない場合があります。

 AFモード
(工場出荷時： エリア選択)

AF-S 時の AF エリア選択方法を設定します。

設定	用途例
<input type="checkbox"/> オートエリア	シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。
<input checked="" type="checkbox"/> エリア選択	ピントを合わせるエリアを手動で選択します (p.60)。

AF 補助光

(工場出荷時：ON)

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。

AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定：ON/OFF

◆ マナーモードでは、AF 補助光は発光しません。

- ① シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- ① マクロ撮影など、被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- ① 人の目に近づけて発光させないください。

AE/AF-LOCK 設定

(工場出荷時：AE/AF-LOCK 押下中のみ)

AFL/AEL ボタンを押したときの機能を設定します (図 62)。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、AE/AF が固定されます。
押下切替	ボタンを押すと AE/AF が固定され、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

AE/AF-LOCK 機能選択

(工場出荷時：AE-LOCK のみ)

AFL/AEL ボタンを押したときにピントと露出のどちらを固定するかを設定できます (図 62)。

AF フレーム補正

(工場出荷時：OFF)

ON にすると、OVF 時に近接撮影用 (撮影距離 約 50cm) の AF フレームが追加されます。シャッターボタンを半押しすると、ピント位置に応じた位置に AF フレーム (緑色) が表示されます。

設定	ON	OFF
イメージ	<p>∞時の AF フレーム</p> <p>撮影距離 約 50cm 時の AF フレーム</p>	

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

 フラッシュ

(工場出荷時：±0)

撮影目的や撮影条件に合わせて、フラッシュの発光量を変更できます。

設定：+ $\frac{2}{3}$ /+ $\frac{1}{3}$ /±0/- $\frac{1}{3}$ /- $\frac{2}{3}$

◆ 被写体の条件や撮影距離などによって、発光量の補正効果が得られない場合があります。

 赤目補正

(工場出荷時：OFF)

ON にすると、暗い場所でフラッシュ撮影したときに、「赤目現象」を軽減します。


設定：ON/OFF

◆ 顔が検出できないときは、赤目補正されません。

◆ RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

 補正前画像記録

(工場出荷時：OFF)

ON にすると、 赤目補正の処理前の画像も同時に記録します。



設定：ON/OFF

動画撮影メニュー一覧

動画撮影時は、以下のメニューが使用できます (図 84)。

 動画モード (工場出荷時:  1920×1080 (30fps))

フレームレートを変更できます。

設定	説明
 1920×1080 (60fps)	フレームレートが 60fps のフルハイビジョン動画
 1920×1080 (30fps)	フレームレートが 30fps のフルハイビジョン動画


 フィルムシミュレーション (工場出荷時:  PROVIA)

撮影する画像の発色や階調を変更できます (図 66)。

 マイクレベル設定 (工場出荷時: 3)

マイクレベルを変更できます。

設定: 1 ~ 4

 画面のカスタマイズ

ファインダーまたは液晶モニターに表示する情報を設定できます (図 90)。


 ワイドコンバージョンレンズ (工場出荷時: OFF)

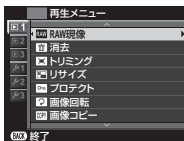
別売の専用ワイドコンバージョンレンズを使用するときは、ON にしてください (図 127)。

再生の設定を変える — 再生メニュー

画像の再生時に使う機能を設定できます。

再生メニューの使い方

- 1**  ボタンを押します。
再生モードに切り換わります。
- 2** MENU/OK ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。



- 3** ▲▼ で変更する項目を選びます。

- 4** ▶ で設定の変更に移ります。



- 5** ▲▼ で設定を変更します。



- 6** MENU/OK ボタンを押して、決定します。



- 7** DISP/BACK ボタンを押して、再生画面に戻ります。



再生メニュー一覧

RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます（[図 76](#)）。








消去

画像を 1 コマずつ消去したり、複数の画像を指定して消去したり、全コマまとめて消去できます（[図 38](#)）。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。

トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。


- 1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
- 2 再生メニューで  トリミングを選びます。
- 3  ボタンと  ボタン、    で切り抜きたい部分を調整します。
- 4 MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
- 5 MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。
 - ◆ 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
 - ◆ トリミングを行ったあとの記録画素数が [640](#) のときは、実行が黄色で表示されます。
 - ◆ トリミングした画像の縦横比は、3:2 になります。

再生の設定を変える — 再生メニュー

 リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。


リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
- 2 再生メニューで  リサイズを選びます。
- 3 変更するサイズ (**M**、**S**、**640**) を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

◆ 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

 プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

- 1 再生メニューで  プロテクトを選びます。
- 2 プロテクトの方法を選びます。
 - **設定 / 解除**：プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されてる画像はプロテクト設定が解除されます。
 - ◆ 手順3のあとに ◀ または ▶ で、続けて設定 / 解除する画像を選べます。
 - **全コマ設定**：すべての画像がプロテクトされます。
 - **全コマ解除**：すべての画像のプロテクト設定を解除します。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。
- 4 **DISP/BACK** ボタンを押して、プロテクトを終了します。

① メモリーカードをフォーマット (109) すると、プロテクトした画像も消去されます。

🔄 画像回転

画像を回転できます。

- 1 再生画面で回転したい画像を選びます。
- 2 再生メニューで 🔄 画像回転を選びます。
- 3 セレクターボタンの ▼ (時計回りに 90° 回転) または ▲ (反時計回りに 90° 回転) で画像を回転します。
- 4 MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。
 - ◆ プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
 - ◆ 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
 - ◆ 📷 表示設定の縦横自動回転再生を ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します (📖 107)。

📄 画像コピー

カメラの内蔵メモリーとカメラに装着したメモリーカード間で、画像をコピーできます。


- 1 再生メニューで 📄 画像コピーを選びます。
- 2 コピーの方法を選びます。
 - 📷 カメラ → 📄 カード：内蔵メモリーからメモリーカードにコピー
 - 📄 カード → 📷 カメラ：メモリーカードから内蔵メモリーにコピー
- 3 ▶ を押します。
- 4 1 コマまたは全コマを選びます。
 - 1 コマ：表示中の画像をコピー
 - ◆ 手順 5 のあとに ◀▶ で、続けてコピーする画像を選べます。
 - 全コマ：すべての画像をコピー
- 5 MENU/OK ボタンを押して、コピーを開始します。
 - ◆ コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。
 - ◆ 🖨️ プリント予約 (DPOF) (📖 121) していた画像をコピーした場合、プリント予約の設定はコピーされません。


再生の設定を変える — 再生メニュー

 赤目補正

人物の赤目を補正できます。

赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。
- 2 再生メニューで  赤目補正を選びます。
- 3 MENU/OK ボタンを押して、赤目補正を開始します。

- ◆ 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じることがあります。
- ◆ 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- ◆ 赤目補正済みの () が表示されている画像は、それ以上赤目補正できません。
- ◆ RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

 スライドショー


撮影した画像を順番に自動再生します。


- MENU/OK ボタン：スライドショーの開始 / 終了
- DISP/BACK ボタン：スライドショー終了のガイダンスが表示
- ◀ または ▶：コマ送り（マルチ以外）

設定	説明
ノーマル 	1 コマずつ再生
フェード 	1 コマずつフェードアウトしながら再生
マルチ	複数コマを一度に再生

* 検出した顔を拡大表示して再生します。

- ◆ スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

 フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます ( 80)。

📁 アップロード先設定

画像や動画を選んで YouTube や FACEBOOK、mixi へのアップロード先を設定できます。

1 再生メニューから 📁 アップロード先設定を選びます。

2 アップロード先を選び、MENU/OK ボタンを押します。

3 ◀ または ▶ でアップロード予約する画像または解除する画像を選びます。

- ・アップロード予約されていない画像を選んで MENU/OK を押すと、予約を設定します。
- ・アップロード予約されている画像を選んで MENU/OK を押すと、予約を解除します。

4 手順 3 を繰り返して、必要に応じて他の画像にもアップロード予約を設定します。

◆ 設定を終了するには、DISP/BACK を押します。

◆ **全コマ解除**を選ぶと、まとめてアップロード先設定を解除できます。画像の数が多いと、全コマ解除に時間がかかることがあります。操作を中止するには、DISP/BACK を押してください。

① アップロード予約されたファイルは、再生時に 📺YouTube、📺FACEBOOK、📺mixi と表示されます。

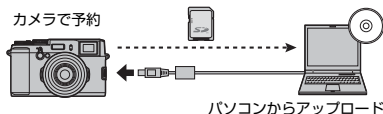
① アップロード先が YouTube の場合、動画のみアップロードできます。

① アップロード先が mixi の場合、静止画のみアップロードできます。

🌐 Web にアップロードするには

カメラで予約した画像は MyFinePix Studio を使ってパソコンから簡単にアップロードできます。カメラとパソコンを接続する前に MyFinePix Studio をインストールしてください (📖 110)。

① この機能は Windows のみで使用できます。



📷 ピクチャーサーチ

さまざまな条件で、画像を検索できます (📖 79)。

🖨️ プリント予約 (DPOF)

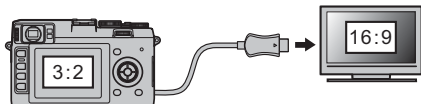
DPOF や PictBridge 対応のプリンターでプリントする画像を指定します (📖 121)。

再生の設定を変える — 再生メニュー

表示比率

3:2 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。

HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



設定	16:9	3:2
イメージ		

◆ 16:9 に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。3:2 に設定すると左右に枠を付けて表示されます。

再生音量

(工場出荷時：7)

再生時の音量を設定します。

設定：0 ～ 10

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

日時の設定、モニターの明るさなど、カメラの基本的な設定を変えられます。

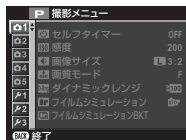
セットアップメニューの使い方

1 MENU/OK ボタンを押します。

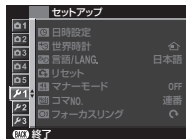
メニューが表示されます。



2 ◀ でタブ選択に移ります。



3 ▼ でセットアップタブに移ります。



4 ▶ でセットアップ画面を表示します。



5 ▲▼ で変更する項目を選びます。



6 ▶ で設定の変更に移ります。



7 ▲▼ で設定を変更します。



8 MENU/OK ボタンを押して、決定します。



9 DISP/BACK ボタンを押して、撮影画面または再生画面に戻ります。



カメラの設定を変える — セットアップメニュー

セットアップメニュー一覧

🕒 日時設定

日付と時刻を設定します。

日時の設定方法については、「初期設定を行う」をご覧ください (📖 26)。

🌐 世界時計

(工場出荷時: 🏠)

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
🏠 ホーム	「初期設定を行う」(📖 26) で設定した地域の日時を表示
➡ 現地	旅行先の日時を表示

● 現地時間の設定

- ➡ 現地を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 時差を設定します。
 - ・ ◀ または ▶ : + / -、時間、分の選択
 - ・ ▲ または ▼ : 設定の変更
- MENU/OK ボタンを押します。

♦ ➡ 現地を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に ➡ と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

🗨️ 言語/LANG.

画面に表示する言語を設定します。

🔄 リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

- リセットするメニュー (撮影メニューリセットまたはセットアップリセット) を選び ▶ を押すと、確認画面が表示されます。
- 実行を選んで MENU/OK ボタンを押します。
 - ♦ セットアップメニューの 🕒 日時設定、🌐 世界時計、🖨️ 表示設定の配色設定、📷 シャッター回数はリセットされません。

マナーモード

(工場出荷時：OFF)

ON にすると、フラッシュや AF 補助光が発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

設定：ON/OFF

- ◆ DISP/BACK ボタンを長押ししてもマナーモードを設定できます。もう一度 DISP/BACK ボタンを長押しするとマナーモードが解除されます。
- ◆ 動画再生中は、マナーモードは設定できません。

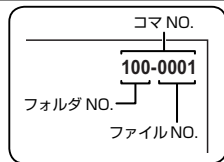
コマ NO.

(工場出荷時：連番)

コマ NO. (フォルダ NO. - ファイル NO.) の付け方を設定します。

メモリーカードを交換したときのコマ NO. の付け方を選びます。

設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。 ◆ ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。 ◆ フォーマット済みのカードに交換することで、番号をリセットできます。



- ◆ コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります (143)。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- ◆ リセットを行ってもコマ NO. はリセットされません。
- ◆ 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

フォーカスリング

(工場出荷時：時計回り)

遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を設定できます。

設定：時計回り / 反時計回り

フォーカスチェック

(工場出荷時：OFF)

ON にすると、MF 時にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示されます。

設定：ON/OFF

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

距離指標の単位

(工場出荷時：メートル)

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます (p.59)。

設定：メートル / フィート

音設定

音に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容
操作音量	ボタンなどを操作するときの音量を設定します。 設定：🔊1/🔊2/🔊3/🔊OFF 🔊 音を消したいときは、🔊OFF を選びます。
シャッター音量	シャッターをきるとききの音量を設定します。 設定：🔊1/🔊2/🔊3/🔊OFF 🔊 音を消したいときは、🔊OFF を選びます。
シャッター音	シャッターをきるとききの音を設定します。 設定：🎵1 サウンド 1 / 🎵2 サウンド 2 / 🎵3 サウンド 3

表示設定

画面表示に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容	
撮影画像表示	撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。	
	設定	説明
	連続	シャッターを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。コマンドレバーの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
	1.5 秒	撮影した画像を一定時間表示。表示中にシャッターボタンを半押しすると、OFF になります。
	0.5 秒	
OFF	表示なし。	
	◆ 1.5 秒、0.5 秒のときに表示される画像は、実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。	
EVF/LCD 明るさ	EVF または LCD の明るさを設定します (28)。 設定: -5 ~ +5	
モニター晴天モード	ON にすると、晴天の野外など、光の反射や映り込みが多く液晶画面が見にくい時に画面が見やすくなります (28)。	
縦横自動回転再生	ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。 設定: ON/OFF	
配色設定	メニューやカーソルなどの色を設定できます。	

消費電力設定

消費電力に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容	
自動電源 OFF	自動的に電源をオフにできます。	
	設定	説明
	5 分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
	2 分	
	OFF	自動的に電源がオフになりません。
	◆ 設定によっては、自動電源 OFF の設定が無効になる場合があります。	
ハイパフォーマンス	ON にすると、ピント合わせと、カメラの再起動時の立ち上げ速度が速くなります。 設定: ON/OFF	


カメラの設定を変える — セットアップメニュー

 OVF 撮影枚数 UP

(工場出荷時 : OFF)

ON にすると、節電機能が働き、OVF 撮影時に撮影できる枚数が増えます。

① ON にすると、OVF 内のヒストグラム表示は枠のみの表示になります。

 シャッター回数

シャッターを切ったおおよその回数を確認できます。

① 電源オフ時、OVF 切り換え時、再生モード切り換え時もカウントされます。

 色空間

(工場出荷時 : sRGB)

カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	商用印刷用途などに適しています。

📷 Eye-Fi 送信

(工場出荷時：ON)

このカメラでは市販の Eye-Fi カードが使用できます。

設定方法などの詳細は Eye-Fi カードの使用説明書をご覧ください。

設定	説明
ON	カメラで撮影したファイルを、あらかじめ設定した保存先へ送信します。
OFF	Eye-Fi 送信を使用しません。

① Eye-Fi カードのご使用にあたっては、その国や地域で認められているかどうか事前にご確認ください。

① 病院や航空機内など、電波の出力が禁止されている場所では、設定を **OFF** にしてください。

📷 表示されるアイコンについて

アイコン	表示	状態
	表示なし	カード未挿入
📷	点灯	未接続 / 待機中
📷	点滅	接続中
📷 📷 📷	アニメーション	転送中
📷	赤点灯	エラー

🗑️ フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。

① 消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。

① フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

パソコンと接続する

付属のソフトウェア（Windows：MyFinePix Studio）を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。カメラとパソコンを接続する前に、ソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

Windows にソフトウェア「MyFinePix Studio」をインストールする

1 インストールの前に、お使いのパソコンが次の使用条件に合うか確認します。

動作環境	
OS*1	Windows 8/Windows 7 (SP1) / Windows Vista (SP2)
CPU	Pentium4、3GHz 相当以上 (Core 2 Duo、2.4GHz 以上) *2
メモリ	1 GB 以上
ハードディスク 空き容量	2GB 以上
ディスプレイ	DirectX 9 以上対応のビデオカード (推奨) DirectX 7 以上対応のビデオカード (必須) *3 1,024 × 768 ドット以上 フルカラー
その他	<ul style="list-style-type: none"> 本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外 自動更新機能、画像ネットサービス、メール添付機能などの使用時に、インターネット接続ができる環境（ブロードバンド環境が推奨）が必要 画像アップロード機能、Map Viewer 使用時に、.NET Framework 3.5 SP1 のインストールが必要 .NET Framework のインストールが必要な場合も、インターネット接続ができる環境が必要

*1 すべてプリインストールされたモデルのみ。

*2 HD 動画を再生するための推奨動作環境。

*3 DirectX 7 に対応していないパソコンにインストールすると、正常に動作しない場合があります。詳しくは、ご使用のパソコンメーカーにお問い合わせください。

① 上記以外の Windows OS では使用できません。自作パソコンや、OS をアップグレードしたパソコンは、動作保証外です。

- 2 パソコンを起動します。
コンピューターの管理者アカウント（例えば、「Administrator」）でログインしてください。
- 3 起動中のアプリケーションを終了して、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。
インストーラーが自動で起動します。

● Windows 8/Windows 7/Windows Vista をお使いの方へ

同梱のCD-ROMをパソコンに入れたときに「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、**SETUP.EXEの実行**をクリックしてください。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されるので、**はい**（Windows Vistaでは**続行**）をクリックしてください。

● インストーラーを手動で起動する

インストーラーが自動起動しない場合は、手動で起動させます。

- 1 スタートメニューから**コンピューター**（Windows 7）/**コンピュータ**（Windows Vista）/**マイコンピュータ**（Windows XP）をクリックします。
- 2 **FINEPIX**のCD-ROMアイコンをダブルクリックします。「FINEPIX」ウィンドウが表示されます。
- 3 **SETUP**または**SETUP.EXE**をダブルクリックします。

● インストーラーを手動で起動する（Windows 8 をお使いの場合）

- 1 スタートメニュー画面で**デスクトップ**を選びます。
- 2 タスクバーから**エクスプローラー**を選びます。
- 3 ナビゲーションウィンドウから**コンピューター**を選びます。
- 3 「**ドライブ：FINEPIX**」をダブルクリックします。画面の指示にしたがってインストールしてください。

4 MyFinePix Studio のインストールをクリックします。

- 画面の指示にしたがってソフトウェアをインストールしてください（Windows Media Player や DirectX が CD-ROM の中身よりも古いバージョンの場合は、これらのソフトウェアをインストールします）。
- RAW FILE CONVERTER も一緒にインストールされます。

5 「インストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、CD-ROM をパソコンから取り出してください。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」(図 115)に進んでください。

① CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

● Windows から MyFinePix Studio をアンインストール (削除) する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。アンインストールの前に MyFinePix Studio を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。

1 コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」(Windows 8/Windows 7/Windows Vista) または「プログラムの追加と削除」(Windows XP) で MyFinePix Studio を削除してください。

2 確認ダイアログが表示されたら、メッセージをよくお読みの上、**OK** をクリックしてください。

Macintosh にソフトウェア「RAW FILE CONVERTER」をインストールする

RAW FILE CONVERTER をインストールすると、RAW 画像をパソコン上で現像できます。

- 1** お使いのパソコンが、次の使用条件に合うか確認します。

動作環境	
CPU	Intel Processor (Core2 Duo 以上)
OS*	Mac OS X (バージョン 10.6 ~ 10.8)
メモリ	1 GB 以上
ハードディスク	インストールに必要な容量：200MB 以上
空き容量	動作に必要な容量：400MB 以上
ディスプレイ	1,024 × 768 ドット以上、フルカラー

* すべてプリインストールされたモデルのみ。

※ 最新の対応 OS については、下記のホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html>

- 2** パソコンを起動して、起動中のアプリケーションを終了します。

- 3** 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、**SILKYRFXEXInstaller** をダブルクリックします。画面の指示にしたがって、ソフトウェアをインストールします。管理者パスワードの入力画面が表示されたら、管理者名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

パソコンと接続する

4 「インストールが完了しました」というメッセージが表示されます。閉じるをクリックしてください。

5 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

① Web ブラウザに Safari をご使用の場合、CD-ROM を取り出す際に、「ディスク「FinePix」は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。その場合は、Dock 内にある Safari のアイコンをクリックして起動し、アプリケーションメニューの **Safari** - **Safari を終了** を選択して終了させてから、CD-ROM を取り出します。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。

① CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

● **Macintosh から RAW FILE CONVERTER をアンインストール（削除）する**

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。アンインストールの前に RAW FILE CONVERTER を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。

1 アプリケーションフォルダにインストールされた RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX をドラッグして、「ゴミ箱」に入れます。

2 Finder メニューの **ゴミ箱を空にする** を選びます。

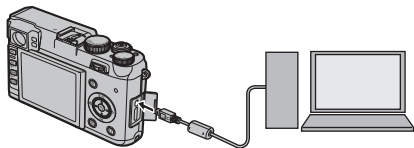
Mac (Macintosh) で画像や動画を取り込む場合

Mac OS 標準アプリケーションのイメージキャプチャなどのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。

カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。Windows をお使いの場合は、Windows の CD-ROM が必要になることがありますので、あらかじめご用意ください。

- 1 ソフトウェアをインストールしたパソコンを起動します。
- 2 カメラの電源をオフにします。
- 3 付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



- ① USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

- 4 電源レバーを ON に合わせて、カメラの電源をオンにします。
- 5 画像を転送します。
画面の指示にしたがって画像をパソコンにコピーします。転送を中止して終了するには、キャンセルをクリックします。
- 6 カメラとパソコンの接続を外します。
画像の保存が完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外してください。

パソコンと接続する

- ① 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- ① 内蔵メモリーの画像を転送する場合は、メモリーカードを取り出してください。
- ① メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- ① カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯していることを確認してください。
- ① カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
 - カメラの電源をオフにする
 - USB ケーブルを抜く
 - メモリーカードを抜く
- ① メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ① ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- ① パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- ① インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

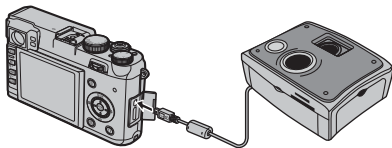
プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。

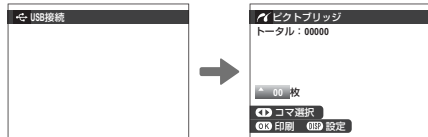


プリンターに接続する




- 1 付属の USB ケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。

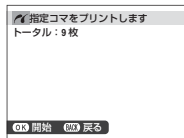


- 2 カメラの電源をオンにします。
液晶モニターに USB 接続画面が表示され、その後ピクトブリッジ画面が表示されます。



その場で選んでプリントする

- 1 プリントしたい画像を選びます。
- 2 プリント枚数を指定します。
最大 99 枚まで設定できます。
- 3 手順 1 と 2 を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。
- 4 MENU/OK ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



プリンターにカメラをつないでプリントする

- 5** もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。



- ◆ プリント枚数を 1 枚も指定せずに **MENU/OK** ボタンを押すと、表示中の画像が 1 枚プリントされます。
- ◆ お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。

● 日付を入れてプリントする

撮影した日付を入れてプリントするには、手順 1 または 2 で **DISP/BACK** ボタンを押します。ピクトブリッジの設定画面が表示されますので、▲ または ▼ を押して、**日付ありプリント** を選び、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント** を選びます。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント** が選べません。

プリント予約した設定でプリントする

1 **プリント予約 (DPOF)** (121) であらかじめ選んだ画像を設定した枚数分プリントします。

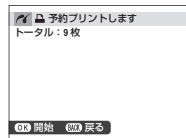
- 1** **DISP/BACK** ボタンを押します。
ピクトブリッジの設定画面が表示されます。



- 2** **予約プリント** を選びます。



- 3** **MENU/OK** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



- 4** もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。



●● プリントの中止

プリント中に **DISP/BACK** ボタンを押すと、プリントを中止します。プリンターによっては、すぐに中止できないことやプリントの途中で停止することがあります。プリントの途中で動作が止まってしまったときは、カメラの電源をいったんオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。



●● プリンターとの接続を切るには

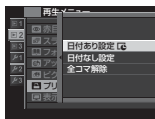
カメラの液晶モニターに**プリント中**と表示されていないことを確認してから、カメラの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外します。

- ◆ 内蔵メモリーまたはこのカメラでフォーマットしたメモリーカードを使って、プリントしてください。
- ◆ カメラとプリンターを USB ケーブルで直接つないでいるときは、フチあり / フチなしや印字品質、用紙サイズなどはプリンター側の設定になります。

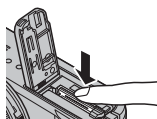
プリントサービス店でプリントする（お店プリント）

「お店プリント」とは、**プリント予約（DPOF）**であらかじめDPOF指定（[図 121](#)）した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス取扱店にお持ちいただき、「DPOF 指定でプリント」とお伝えただけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。

デジタルカメラ



メモリーカード



フジカラーデジカメプリントサービス店



事前にカメラでプリントする画像と枚数を設定します（**プリント予約（DPOF）**：[図 121](#)）。

画像の入ったメモリーカードをカメラから取り出します。

メモリーカードをお店にお持ちいただくだけで、手軽に高画質でプリントできます。詳細は、<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>をご覧ください。

● デジカメプリントのご注文について

- カメラであらかじめDPOF指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。画像をパソコンに転送する方法は、110ページを参照してください。
- 内蔵メモリー内の画像は、お店プリントできません。再生メニューの**コピー 画像コピー**（[図 99](#)）でメモリーカードに画像をコピーしてから**プリント予約（DPOF）**でDPOF指定して、プリントサービス店にお持ちください。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください（[図 26](#)）。
- パノラマモード撮影した画像は、ワイドなパノラマプリントでお楽しみいただくことができます。プリント取扱店にて「パノラマプリント」とご指定の上、ご注文ください（「パノラマプリント」はお店のプリント受付機ではご注文できません。プリント取扱店店頭にてご相談ください）。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。<http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html>

プリントする画像を指定する (☑️ プリント予約 (DPOF))

再生メニューの ☑️ プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておくと、カメラを PictBridge 対応プリンターに直接つないでプリントしたり (📖 117)、フジカラーデジタルカメラプリントサービス取扱店でお店プリントするとき (📖 120) に、指定した内容で簡単にプリントできます。

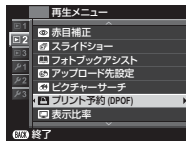
● DPOF 指定

DPOF (ディーポフ) とは、Digital Print Order Format (デジタルプリントオーダーフォーマット) のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。

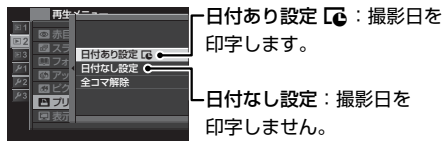


■ 日付あり設定 ☑️ / 日付なし設定

- 1** 再生メニューで ☑️ プリント予約 (DPOF) を選びます (📖 101)。



- 2** 日付あり設定 ☑️ または日付なし設定を選びます。



- 3** MENU/OK ボタンを押します。



- 4** DPOF 指定する画像を選びます。

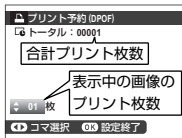


プリントする画像を指定する ( プリント予約 (DPOF))

5 プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。



- DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。




6 プリントしたいすべての画像に対して手順 4 と 5 を行います。



設定した内容を保存して終了するには、**MENU/OK** ボタンを、設定を変更せずに終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

7 合計枚数を確認して、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。

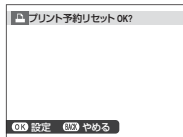


DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に  が表示されます。



◆ 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。

◆ 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、右のようなメッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。



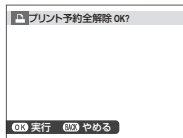
◆ 日付あり / 日付なしはプリンターの設定による場合がありますので、お使いのプリンターの設定を確認してください。

■ 全コマ解除


現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

全コマ解除を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、確認画面が表示され

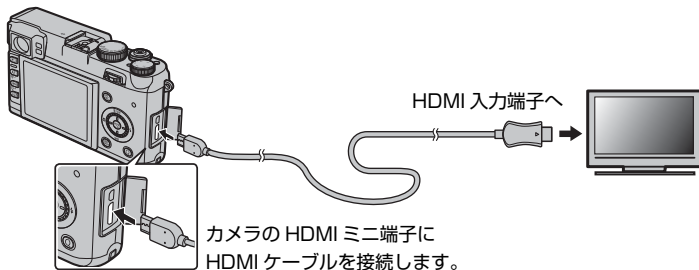
ます。もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、DPOF 指定がすべて解除されます。



テレビに接続する

テレビに接続すると、写真やスライドショー（ 100）を大勢で楽しむことができます。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



- ◆ USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
 - ◆ HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- ① テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。

テレビに接続する

- 3** テレビの入力を HDMI 入力に切り換えます。
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。
 - 4** 電源レバーを **ON** に合わせて、カメラの電源をオンにし、▶ (再生) ボタンを押します。
カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。
- ① ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- ◆ 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。



カメラで使えるアクセサリ

アクセサリ

別売アクセサリ

このカメラでは、次の富士フィルム製別売アクセサリを使用できます。

充電式バッテリー NP-95：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。



バッテリーチャージャー BC-65N：充電式バッテリー NP-95 を充電します。充電時間は約210分（+20℃において）です（AC100V～240V、50/60Hz対応）。



クリップオンフラッシュ EF-20：ガイドナンバー20（ISO100・m）のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL自動調光機能を搭載。バウンス角度は上90°です。単三電池2本を使用します。



クリップオンフラッシュ EF-42：ガイドナンバー最大42（ISO100・m）のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL自動調光機能、24～105mm（35mmフィルム換算）のオートズーム機能を搭載。バウンス角度は上90°、左180°、右120°です。単三電池4本を使用します。



クリップオンフラッシュ EF-X20：ガイドナンバー20（ISO100・m）のクリップオンタイプのフラッシュです。



レザーケース LC-X100S：X100S/X100専用の本革製ケースです。カメラを装着したままの撮影や、カードやバッテリーの出し入れが可能です。同素材のショルダーストラップを同梱しています。

アダプターリング AR-X100：X100S/X100専用のアルミニウム製のアダプターリングです。専用レンズフード（LH-X100）のほか、市販のフィルター（φ49mm）を装着する時に使用します。



レンズフード LH-X100：X100S/X100専用のアルミニウム製のレンズフードです。同素材のアダプターリング（AR-X100）を同梱しています。
※ 専用アダプターリング AR-X100 が必要です。



プロテクトフィルター PRF-49S：X100S/X100専用のプロテクトフィルターです。
※ 専用アダプターリング AR-X100 が必要です。



ワイドコンバージョンレンズ WCL-X100：元のレンズの焦点距離よりも広角側で撮影するためのレンズです。



ステレオマイク MIC-ST1：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

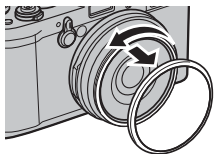


※最新情報については、富士フィルムホームページをご覧ください。
<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>

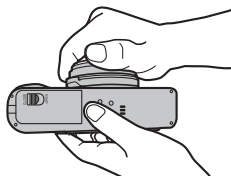
別売アクセサリの取り付け方

■ アダプターリング AR-X100

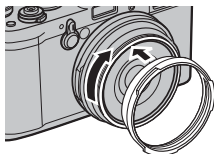
- 1** フロントリングをはずします。



◆ フロントリングがはずれにくいときは、フロントリング全体をしっかりとつかんで回してください。



- 2** アダプターリングを取り付けます。
図のように突起部が手前になるようにしてください。

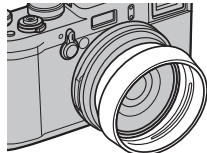
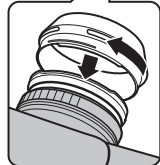
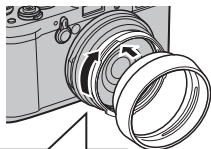


- ① はずしたフロントリングやレンズキャップは、なくさないように保管してください。
② レンズフード LH-X100やプロテクトフィルター PRF-49S、市販のフィルターなどを取り付けるときは、必ずアダプターリング AR-X100 を先に装着してください。

■ レンズフード LH-X100

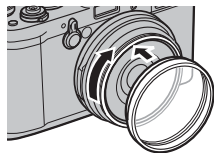
アダプターリングを取り付けてから、レンズフードを取り付けます。

- ◆ 切り欠き部分を合わせて、図のように回します。






■ プロテクトフィルター PRF-49S

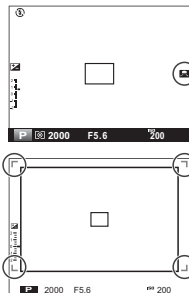
アダプターリングを取り付けてから、プロテクトフィルターを取り付けます。




ワイドコンバージョンレンズの使い方


別売の専用ワイドコンバージョンレンズ WCL-X100 を使用するとき、撮影メニューの  **ワイドコンバージョンレンズ** を **ON** にしてください (P.95)。


◆  **ワイドコンバージョンレンズ** を **ON** にすると、画面に  **アイコン** が表示されます。



◆ OVF ではブライトフレームの表示範囲を超えるため、フレームは消失し、次のように表示されます。  が示す範囲のファインダー視野率は約 80% です。より正確なフレーミングが必要な場合には、EVF または LCD での撮影をおすすめします。

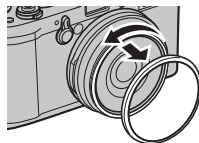
◆ 内蔵フラッシュを使用して撮影すると、画像の一部が暗くなる場合があります。専用外部フラッシュのご使用をおすすめします。

◆  **ワイドコンバージョンレンズ** は、Fn ボタンに割り当てることができます。

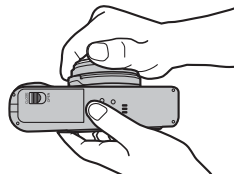
◆ ワイドコンバージョンレンズを使用しないときは、必ず  **ワイドコンバージョンレンズ** を **OFF** にしてください。

■ 取り付け方

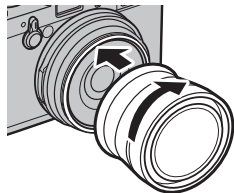
1 フロントリングをはずします。



◆ フロントリングがはずれにくいときは、フロントリング全体をしっかりとつかんで回してください。



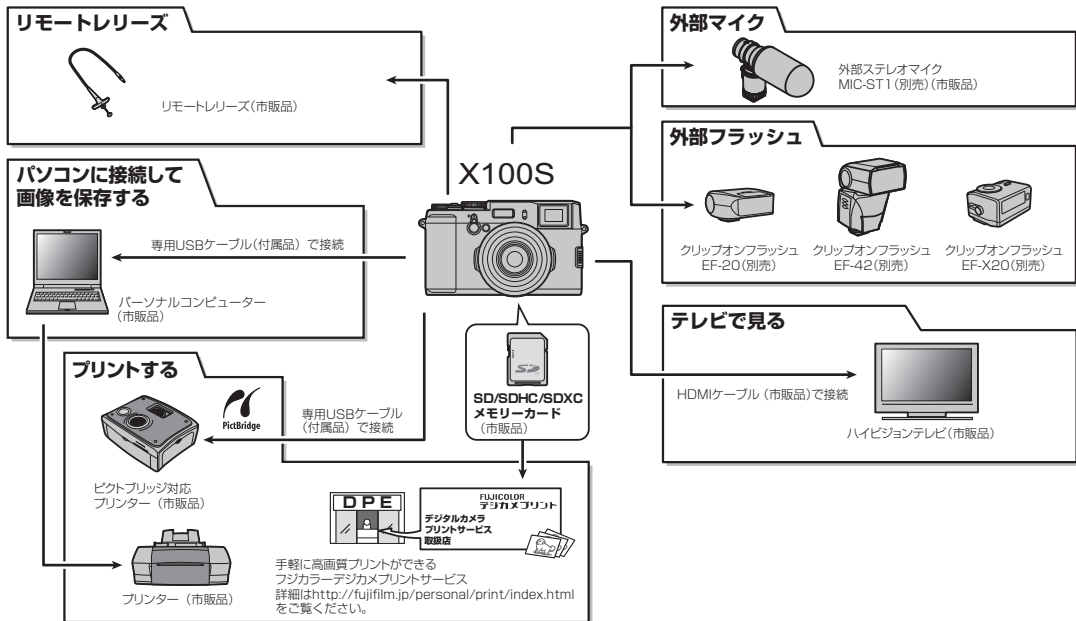
2 ワイドコンバージョンレンズを取り付けます。



① はずしたフロントリングやレンズキャップは、なくさないように保管してください。

システム構成図

このカメラは、さまざまな富士フィルムおよび他社製品に対応しています。



* デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます (パノラマモードで撮影した画像のプリントについては、プリント取扱店にご相談ください)。パノラマモードで撮影された画像のプリントについては、以下のホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/print/photo/index.html>

* 本製品は PRINT Image Matching II に対応しています。

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。
ます。

- ・ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。



警告
この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意
この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告
異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。



電源プラグを抜く

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- ・お買上げ店にご相談ください。

内部に水や異物を落とさない。



水ぬれ禁止

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- ・お買上げ店にご相談ください。



風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対にしてない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。



接続禁止

感電したり、破損部でけがををする原因になります。
・感電やけがに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。



コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

・コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれ倒れたり落下したりして、けがの原因になります。



移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。
転倒、交通事故などの原因になります。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性(⊕)表示どおりに入れてください。



電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。



指定外の電池・バッテリーやACパワーアダプターを使用しない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一または同タイプのものだけを使用してください。



可燃性/爆発性ガス/粉塵のある場所で使用しない。



電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にゼロハンテープなどの絶縁テープをはる。



他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。



メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。
メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。



小さいお子様の手の届くところに置かない。

けがの原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。
バランスがくずれ倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

お取り扱いにご注意ください

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。

本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布巾でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。

充電終了後は充電器をコンセントから抜く。コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。一時的に視力に影響することがあります。

特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。

本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

・2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

電源についてのご注意

※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

■ 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

・バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前(1～2日前)に充電したバッテリーを用意してください。

・バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。

・寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

・付属の充電器を使用して充電できます。

・充電は周囲の温度が0℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。

・+10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。

・充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。

・充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。

・充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

・充電された状態を長期保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。

・使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。

・涼しいところで保存してください。

・周囲の温度が+15℃～+25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。

・暑いところや極端に寒いところは避けてください。

⚠ 危険ですので、次のことにご注意ください

⚠ バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

⚠ 火気近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

⚠ 分解したり、改造したりしないでください。

・強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

・水にぬらさないようご注意ください。

・端子は常にきれいにしておいてください。

・長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■ 2 形 3 形 アルカール乾電池、単 3 形 ニッケル水素電池使用機種

■ 取扱い上のご注意

・火中に投入したり、加熱したりしないでください。

・プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。

・水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。

・変形させたり、分解、改造をしないでください。

- ・外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- ・液漏れしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- ・高温、多湿の場所に保管しないでください。
- ・幼児やお子様の手が届く範囲に放置しないでください。
- ・カメラに電池を入れるときは、極性(⊕と⊖)に注意して表示どおりに入れてください。

- ・新しい電池と使用した電池(充電池式電池の場合:充電池のみ)の電池と、放電した電池、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ・長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください(電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます)。
- ・使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- ・寒冷地(+10℃以下)では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をボグットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- ・電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。



万一、液漏れが起きたときは、電池挿入部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。



電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

■単3形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくための注意

- ・お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
- ・「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放電機能をお試しください。
- ・「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。

! **注意** アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

- ・ニッケル水素電池用充電器は、ニッケル水素電池 HR-AA 専用です。乾電池や他の充電池式電池を充電すると、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- ・ニッケル水素電池の充電は、専用の充電器を使用し、充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- ・充電器では、指定外の電池を充電しないでください。
- ・充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- ・カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ・ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなる場合があります。
- ・ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します。(懐中電灯などでの放電)。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ・ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性がありま

■電池の廃棄について

- ・電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

3 両機種(Ⅰ、Ⅱ)共通のご注意

■小形充電池式電池のリサイクルについて



小形充電池式電池(リチウムイオン/バッテリーまたはニッケル水素電池など)はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html

■AC パワーアダプター使用機種

- 必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。弊社専用以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。AC パワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。
- ・室内専用です。
- ・DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- ・DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください(コードを引っ張らないでください)。
- ・AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- ・使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- ・分解したりしないでください。危険です。
- ・高温多湿のところでは使用しないでください。
- ・落としたり、強いショックを与えないでください。
- ・内部で発振音することがありますが、異常ではありません。
- ・ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ソフトウェアに関するご注意



本製品に同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

お客様は日本国政府または該当国の政府より必要な許可などを得ることなしに「許諾ソフトウェア」の全体または一部を直接または間接に輸出してはなりません。

■ 使用説明書について

使用説明書はパーソナルコンピュータ（以下パソコンといいますが）とWindows、Macintoshの使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンとWindows、Macintoshの使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。表示される画面やメニューが使用説明書と異なる場合がありますがご了承ください。

カメラをお使いになる前のご注意

■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™は富士フイルム（株）の商標です。
- DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTimeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Windows 8、Windows 7、Windows VistaおよびWindowsロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- IrSimple™はInfrared Data Association®の商標です。
- IrSS™またはIrSimpleShot™は、Infrared Data Association®の商標です。
- SDHCロゴ、SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- HDMIロゴは商標です。
- mixiは株式会社mixiの登録商標です。
- YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- ・カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けしないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- ・太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- ・雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- ・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- ・極端に寒いところ
- ・振動の激しいところ
- ・油煙や湯気の当たるところ
- ・強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- ・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の天敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がからまないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなつてからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■海外で使うとき

- ・このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- ・海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■メモリーカード取扱上のご注意

- ・メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- ・メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- ・メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- ・指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- ・強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- ・静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入ると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ・ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- ・長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ・メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- ・パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- ・カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- ・パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなる場合があります。
- ・画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- ・画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。



トラブルシューティング / FAQ


カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源とバッテリー

	症状	ここをチェック！	処置	ページ
バッテリー、 電源について	ON/OFF （電源）レバーを ON に合わせても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	19, 21
		バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	21
		バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかりと閉めてください。	22
	ON/OFF （電源）レバーをオフにしたあとに素早くオンにしても液晶モニターが点灯しません。	—	シャッターボタンを半押ししてください。	—
	バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていませんか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	130
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		フォーカスモードを AF-C （コンティニュアスAF）に設定していませんか？	AF-C （コンティニュアスAF）で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	58
		同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性がありますが、新品のバッテリーと交換してください。	—
使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていないですか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	19, 21	

症状		ここをチェック！	処置	ページ
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	21
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	21
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	充電器のプラグを正しくコンセントに接続してください。	19
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか？	低温時は、充電時間が長くなる場合があります。	—
	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	—
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	21、158

■メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	ページ
メニューが日本語以外で表示されています。	セットアップメニューの  言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を日本語にしてください。	104

■ 撮影時

症状		ここをチェック！	処置	ページ
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	21, 38
		メモリーカード、内蔵メモリーはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	109
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	21
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	19, 21
	電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	25	
	撮影後、映像が消えて黒い画面になりました。	フラッシュ撮影しましたか？	フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、そのままお待ちください。	—
シャッターボタンを半押しすると、EVF や LCD にノイズが見えます。	被写体が暗かったり、絞りを絞り込んでいませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているので、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	—	
ピントについて	ピントを合わせられません。	近距離のものを撮影しようとしていませんか？	マクロを設定してください。	42
		マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか？	マクロを解除してください。	
		オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	61, 62
パノラマ撮影について	シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケータランプが橙色に点灯していませんか？	インジケータランプが消灯するまでお待ちください。	13

症状		ここをチェック！	処置	ページ
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください。	147
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	19, 21
		ドライブ設定がブラケティング撮影または連写になっていませんか？	ドライブ設定を 1コマ撮影 に設定してください。	67, 70
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	11
		フラッシュ設定が ④ （フラッシュ発光禁止）になっていませんか？	フラッシュを ③ （フラッシュ発光禁止）以外に設定してください。	40
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	11
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	151
フラッシュを指などでふさいでいませんか？		カメラを正しく構えてください。	—	
高速シャッタースピードで撮影していませんか？		シャッタースピードが $\frac{1}{2000}$ 秒より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなる場合があります。シャッタースピードを $\frac{1}{2000}$ 秒以下に設定してください。	41、 48、 50	
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	—
		レンズに指などがかかっていますか？	レンズに指がかからないようにしてください。	—
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と !AF が表示されていませんか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	33
		撮影時に ! が表示されていませんか？	手ブレの可能性があります。フラッシュ撮影をするか、三脚を使用してください。	40
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。	—
画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？ 温度警告が表示されていませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	144	

■ 再生時

症状		ここをチェック！	処置	ページ
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。	—
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	102
		動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんか？	動画撮影時はマイクをふさがないようにください。	10、43
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないようにください。	10、44
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	11
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行なったカメラをお使いください。	98
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマ NO. について	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	105

■ 接続時






症状		ここをチェック！	処置	ページ
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。	123
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	
		テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。	
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	115
	撮影した RAW または JPEG などの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	MyFinePix Studio を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？	付属のソフトウェア（Windows: MyFinePix Studio）を使って、画像を取り込んでください。	110、 113
プリンターとの接続について	接続したのにプリントできません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	117
	1 枚ずつしかプリントされません。	プリンターの電源は入っていますか？	プリンターの電源を入れてください。	—
		日時が印字されません。	PictBridge 対応のプリンターでプリントしていますか？	プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を 1 枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。



■ その他

症状		ここをチェック！	処置	ページ
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	21、23
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	19、21
カメラの動作などについて	カメラが正常に作動しなくなりました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	21、23 158
音について	音がでません。	マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	11




警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態です。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚のご使用をおすすめします。
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	<ul style="list-style-type: none"> AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください (61)。 近距離撮影の場合は、 マクロを設定してください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none"> 静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。 適切な明るさ (露出) ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直してください。 電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で再生メニューの  画像コピーを選びました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください (109)。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (109)。
	メモリーカードの接触面 (金色の部分) が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります (109)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (P.109)。
	メモリーカードの接触面 (金色の部分) が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります (P.109)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。 メモリーカードが壊れています。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください (P.23)。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (P.109)。
 空き容量がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がないため、画像を記録 / コピーできません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
 空き容量がありません		
メモリーがいっぱいです カードを入れてください		
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源の ON/OFF を繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください (P.109)。
DISP を長押しして マナーモードを 解除してください	マナーモード時に音量を設定しようとしています。	マナーモード時は音量の設定はできません。音量を設定したい場合は、マナーモードを解除してください。

警告表示	警告内容	処置
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、セットアップメニューの コマ No. を新規に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 コマ No. を連番に戻すと、引き続き撮影できます。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしてしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしてしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（ 109）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
枚数制限をこえています	30000 枚以上の画像をピクチャーサーチしようとしてしました。	30000 枚以上の画像はピクチャーサーチできません。
	複数指定消去を枚数制限以上の画像で実行しようとしてしました。	999 枚を超える画像では、複数指定消去は実行できません。
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> プロテクトされているファイルを消去しようとしてしました。 プロテクトされているファイルを回転しようとしてしました。 	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください（ 98）。
画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がないときに、メモリーカードまたは内蔵メモリーへ画像をコピーしようとしてしました。	コピーする画像がないため、画像をコピーすることはできません。
画像がありません		
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしてしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしてしました。	プリント予約できません。

警告表示	警告内容	処置
回転できません  回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとした。	回転できません。
 実行できません  実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとした。	—
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。
プリンターエラー	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	<ul style="list-style-type: none"> プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 プリンターの電源をいったん切ってから、再入力してください。 お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか？	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は MENU/OK ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとした。	<ul style="list-style-type: none"> お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターが JFIF-JPEG、Exif-JPEG 形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできないコマです	他のカメラで撮影した画像 (⊗) または動画をプリントしようとした。	<ul style="list-style-type: none"> 動画はプリントできません。 このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
!!	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。



資料集

用語の解説

Exif (イグジフ) ファイル形式 : Exif (イグジフ) は、一般社団法人カメラ映像機器工業会 (CIPA) にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFF や JPEG との互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCF が CIPA 規格になっています。

HDMI : High-Definition Multimedia Interface の略。パソコンとディスプレイの接続インターフェースである DVI に、音声の入出力などを付け加えたデジタル家電で映像や音声などを伝送するインターフェースの一種です。

JPEG : Joint Photographic Experts Group の略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長 (画像の復元) したときの画質は劣化します。

MOV 形式 : Apple 社が開発した動画のファイル形式で、拡張子が ".mov" です。インターネット上での動画配信によく使われている形式の 1 つで、QuickTime Player で再生できます。

ホワイトバランス : 人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

メモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数及び撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数及び撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。メモリーカードなしでも、数枚程度の試し撮りは可能です。

撮影モード		記録媒体	4 GB		8 GB	
			FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	L 3:2		600	960	1210	1910
	L 16:9		710	1130	1420	2260
	L 1:1		900	1410	1800	2810
	M 3:2		960	1830	1910	3740
	M 16:9		1130	2230	2260	4430
	M 1:1		1430	2740	2850	5440
	S 3:2		1790	3440	3570	6840
	S 16:9		2110	4020	4200	7990
	S 1:1		2670	5020	5320	9980
RAW			120		230	
動画*1	HD 1920×1080 (60 fps) /		13分		26分	
	HD 1920×1080 (30 fps)					

*1 HD動画を撮影するときには、CLASS10以上のメモリーカードをご使用ください。連続して記録する場合、約10分で自動的に撮影を停止します。

各撮影モードで使用できる機能について

各撮影モードで使用できる機能は以下のとおりです。

		P	S	A	M			
マクロ	OFF	✓	✓	✓	✓	✓	✓ ¹	✓ ¹
		✓	✓	✓	✓	✓		
DRIVE	連写	6.0 fps	✓	✓	✓	✓		
		3.0 fps	✓	✓	✓	✓		
	ブラクティ ング		✓	✓	✓	✓		
			✓	✓	✓	✓		
			✓	✓	✓	✓		
			✓	✓	✓	✓		
測光モード		✓	✓	✓	✓	✓ ²	✓ ²	
		✓	✓	✓	✓	✓		
		✓	✓	✓	✓	✓		
フォーカスモード	AF-C	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	AF-S	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	MF	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
露出補正		✓	✓	✓	✓	✓ ⁵	✓	
WB ホワイトバランス		✓	✓	✓	✓	✓	✓	
セルフタイマー		✓	✓	✓	✓	✓		

		P	S	A	M			
感度	H (25600)	✓	✓	✓	✓	✓		
	H (12800)	✓	✓	✓	✓	✓		
	6400	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	5000	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	4000	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	3200	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	2500	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	2000	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	1600	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	1250	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	1000	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	800	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	640	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	500	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	400	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	320	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	250	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	200	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	L (100)	✓	✓	✓	✓	✓		
	AUTO (6400)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	AUTO (3200)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	AUTO (1600)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	AUTO (800)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	AUTO (400)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
画像サイズ		✓	✓	✓	✓	✓		
		✓	✓	✓	✓	✓		
		✓	✓	✓	✓	✓	✓ ³	
画質モード	FINE	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	NORMAL	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	FINE+RAW	✓	✓	✓	✓			
	NORMAL+RAW	✓	✓	✓	✓			
	RAW	✓	✓	✓	✓			

		P	S	A	M			
ダイナミックレンジ	AUTO	✓	✓	✓				
	100	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	200	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	400	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
フィルムシミュレーション	Pro	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	S	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	Standard	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	F	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	N	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	B	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	C	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	V	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	L	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	M	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ND フィルター	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
カラー	✓	✓	✓	✓	✓			
シャープネス	✓	✓	✓	✓	✓			
ハイライトトーン	✓	✓	✓	✓	✓			
シャドウトーン	✓	✓	✓	✓	✓			
ノイズリダクション	✓	✓	✓	✓	✓			
長秒時ノイズ低減	✓	✓	✓	✓	✓			
カスタム選択	✓	✓	✓	✓	✓			
カスタム登録 / 編集	✓	✓	✓	✓	✓			
Fn ボタン設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

		P	S	A	M			
画面のカスタマイズ	フレーミングガイド	✓	✓	✓	✓			✓
	電子水準器	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	AF 時の距離指標	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	MF 時の距離指標	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	ヒストグラム	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	絞り / シャッター速度 / ISO	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	露出補正バー	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	測光	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	フラッシュ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	ホワイトバランス	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	フィルムシミュレーション	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	ダイナミックレンジ	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	撮影可能枚数	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	画像サイズ & 画質モード	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
バッテリー残量表示	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
フレーミングガイド		✓	✓	✓	✓	✓		✓
ワイドコンバージョンレンズ		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
MF アシスト		✓	✓	✓	✓			
アダプストフィルター		✓	✓	✓	✓			
AF モード	+	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	+	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF 補助光		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AE/AF-LOCK 設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AE/AF-LOCK 機能選択		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF フレーム補正		✓	✓	✓	✓	✓		

			P	S	A	M			
フラッシュモード	赤目補正 OFF	オート	✓				✓ ¹		
			✓	✓	✓	✓	✓		
			✓		✓		✓ ²		
			✓	✓	✓	✓	✓		
			✓	✓	✓	✓	✓		
	赤目補正 ON		✓	✓	✓	✓			
			✓		✓				
			✓	✓	✓	✓			
			✓	✓	✓	✓			
			✓	✓	✓	✓	✓		
フラッシュ		✓	✓	✓	✓	✓			
赤目補正		✓	✓	✓	✓				
補正前画像記録		✓	✓	✓	✓				
フォーカスリング		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
フォーカスチェック		✓	✓	✓	✓	✓			
消費電力設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
色空間		✓	✓	✓	✓	✓	✓		

1 OFF 固定。

2 (マルチ) 固定。


3 固定。

4 AF エリアは画面中央に固定されます。

5 撮影モードにより、選択できるモードが異なります。

システム

シャッタースピード	• ¼ 秒～ 1/4000 秒 (P)	• タイム (30 秒～ ½ 秒)
(メカニカルシャッター併用)	• 60 分～ 1/4000 秒 (全モード合わせて)	• バルブ (最長 60 分)

連写	選択可能な連写速度 (コマ / 秒 [fps]) JPEG	連続記録枚数
 (連写)	3.0、6.0	3.0 コマ / 秒時：約 44 コマ 6.0 コマ / 秒時：約 31 コマ

フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> • モード：シングル AF/ コンティニュアス AF/ マニュアルフォーカス (リング回転式) • AF 方式：インテリジェントハイブリッド AF (TTL コントラスト AF + 位相差 AF)、AF 補助光付き • AF フレーム選択：オートエリア AF/ エリア選択 AF (OVF：5×5 の 25 エリア選択 EVF/LCD：7×7 の 49 エリア選択、フォーカス枠サイズ可変)
-------	---

ホワイトバランス	AUTO/ カスタム / 色温度 (ケルビン値) 設定 / プリセット (晴天 / 日陰 / 昼光色蛍光灯 / 昼白色蛍光灯 / 白色蛍光灯 / 電球 / 水中)
----------	---

セルフタイマー	OFF、2 秒、10 秒
---------	--------------

フラッシュ	<ul style="list-style-type: none"> • 方式：オートフラッシュ • ガイドナンバー：約 4.6 (ISO100・m)
-------	---

フラッシュ発光モード	<ul style="list-style-type: none"> • 赤目補正 OFF 時：AUTO/ 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ / コマンダー / 外部フラッシュ • 赤目補正 ON 時：赤目軽減 AUTO/ 赤目軽減 + 強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減 + スローシンクロ / コマンダー / 外部フラッシュ
------------	--

アクセサリシュー	あり (TTL フラッシュ対応)
----------	------------------

ハイブリッドビューファインダー	<ul style="list-style-type: none"> • 光学ファインダー：電子式ブライトフレームファインダー (逆ガリレオ式)、撮影範囲フレーム視野率 約 90%、ファインダー倍率 約 0.5 倍 • 電子ビューファインダー：0.48 型カラー液晶ファインダー、約 236 万ドット (視野率 約 100%) <ul style="list-style-type: none"> - 視度調節：- 2 ~ +1 m⁻¹ (dpt) - アイポイント：約 15mm
-----------------	--

液晶モニター (LCD)	2.8 型カラー液晶モニター、約 46 万ドット (視野率 約 100%)
--------------	---------------------------------------

動画	解像度 1920 × 1080 ：1080p、60 フレーム / 秒 / 30 フレーム / 秒、音声付き (ステレオ)、連続最大 10 分まで
----	---

主な仕様

入出力端子	
HDMI 出力	HDMI ミニ端子
デジタル入出力	USB2.0 High-Speed
電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-95 (付属)
バッテリー作動可能枚数の目安	<ul style="list-style-type: none">・ バッテリーの種類：NP-95・ 撮影枚数：約 330 枚 <p>CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。 * 注意：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。</p>
本体外形寸法	126.5mm × 74.4mm × 53.9 (31.0*) mm (幅 × 高さ × 奥行き) * 突起部含まず、奥行は最薄部表記
撮影時質量	約 405g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)
本体質量	約 445g (付属バッテリー、メモリーカード含む)
動作環境	温度：0℃～+ 40℃ 湿度：10～80% (結露しないこと)

バッテリー NP-95

公称電圧	3.6V
公称容量	1800mAh
使用温度	0℃～+40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×厚み)	35.2mm × 49.5mm × 10.8mm
質量	約 39g

バッテリーチャージャー BC-65N

定格入力	AC 100V～240V 50/60Hz
入力容量	15VA
定格出力	DC 4.2V 650mA
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-95
充電時間	約 210分 (+20℃において)
使用温度	0℃～+40℃
外形寸法 (幅×高さ×厚み)	65mm × 25.3mm × 80mm (突起物を除く)
質量	約 59g (本体のみ)

※質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

- ①仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

- 記号
Q (拡大) ボタン、36,37
Q (縮小) ボタン、36,37
□ (再生) ボタン、34,96
☒ (消去) ボタン、38
⚡ (フラッシュ) ボタン、40
⬇ (マクロ) ボタン、42
-
- PROVIA/ スタンダード、66
Velvia/ ビビッド、66
ASTIA/ ソフト、66
PRO Neg. Hi、66
PRO Neg. Std、66
モノクロ、66
モノクロ+Ye フィルター、66
モノクロ+R フィルター、66
モノクロ+G フィルター、66
セピア、66
-
- (赤目軽減オートフラッシュ)、41
(赤目軽減+強制発光フラッシュ)、41
(赤目軽減+スローシンク口)、41
⚡ (強制発光)、40
⊘ (発光禁止)、40
⚡ (スローシンク口)、40
👤 コマンダー、40
👤 外部フラッシュ、40
-
- !AF (AF 警告)、33,141
🔒 (撮影時のボタンロック)、11
👤 (手ブレ警告)、141
⚡ (フラッシュ発光警告)、40
👤 (プレゼント)、34
👤 (マナーモード)、11
-
- [A~Z]
AE/AF-LOCK 機能選択、62,93
AE/AF-LOCK 設定、62,93
AE/AF ロック、61
AE-L/AF-L (AF ロック / AE ロック) ボタン、58,62,93
AE 選択ボタン、64
AE ブラケティング、67,68
AE ロック、61
AF-C (コンティニュース AF)、58
AF-S (シングル AF)、58
AF エリア、60
AF エリア選択、60
AF エリアポイント、35
AF (オートフォーカス)、33,61,62
AF 警告、33,141
AF 選択ボタン、60
AF フレーム補正、93
AF 補助光、33,93
AF モード、92
AF ロック、61
DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン、30
DPOF 指定、121
DRIVE (ドライブ) ボタン、43,67,69,70,72
EVF (電子ビューファインダー)、30
Eye-Fi 送信、109
FACEBOOK、101
Fn (ファンクション) ボタン、82
HDMI、128,145
HDMI ケーブル、123
ISO ブラケティング、67,68
LCD (液晶モニター)、30
MACRO ボタン、42
MENU/OK ボタン、85,96,103
MF アシスト、59
MF (マニュアルフォーカス)、58
mixi、101
MyFinePix Studio、110
ND フィルター、78
ON/OFF (電源) レバー、25
OVF (光学ファインダー)、30
OVF/EVF/LCD 表示、27
PictBridge (ピクトブリッジ)、117
Q (クイックメニュー) ボタン、45
RAW FILE CONVERTER、113
RAW 画像、75,76
RAW 現像、76
SD/SDHC/SDXC メモリーカード、21,23,149
USB 接続、115,117,128
VIEW MODE ボタン、27
WB シフト、53,55
YouTube、101

【あ】

アイセンサー、27
赤目補正、94,100
明るさ (画面)、28,107
明るさ (露出補正)、63
アップロード先設定、101
アドバンスフィルター、92
アフターサービス (修理)、157
アベレージ (測光)、64
アンインストール (ソフトウェア)、112,114
色温度、55
色空間、108
インジケータランプ、13
インストール (ソフトウェア)、110,113
液晶モニター (LCD)、16,30
エリア選択 (AF モード)、60,92
オートエリア (AF モード)、92
オートパワーオフ (自動電源 OFF)、107
オートフォーカス (AF)、33,61,62
オートフラッシュ、40
音設定、106
お店プリント、120
音量 (再生音量)、102

【か】

海外で使うとき、20,133
外部フラッシュ、125
画質モード、87
カスタム設定、83
カスタム選択、89
カスタムホワイトバランス、53,54
画像回転、99
画像コピー、99
画像サイズ、86
画像の消去、38

画面 (明るさの調整)、28
画面のカスタマイズ、30,90
画面 (表示の切り換え)、30,37
カラー、88
感度、56
距離指標、59
距離指標の単位、59,106
切り抜き (トリミング)、97
記録画素数、149
ぐるっとパノラマモード、72
言語設定、26,104
工場出荷設定、86,95
コマ NO. (コマナンバー)、105
コマンドダイヤル、12
コマンドレバー、13
コンティニューアス AF (AF-C)、58

【さ】

再生音量、102
再生ズーム、36
再生メニュー、96
再生モード、34,96
撮影可能枚数、146
撮影時の情報、35
撮影メニュー、85
撮影モード、47
自動起動設定 (ソフトウェア)、111
自動電源 OFF (オートパワーオフ)、107
視度調整ダイヤル、28
絞り優先 AE、49
シャープネス、88
シャッター音、106
シャッター音量、106
シャッター回数、108
シャッタースピード、47,48,50

シャッタースピード優先 AE、48
シャッターボタン、33
シャドウトーン、88
修理、157
消去、38,97
消費電力設定、107
初期化 (フォーマット)、109
シングル AF (AF-S)、58
ステレオマイク、125
ストラップ、17
スポット (測光)、64
スライドショー、100
スローシンクロ、40
静止画撮影、32
世界時計、104
セットアップメニュー、103
セルフタイマー、65
セレクトターボタン、12
全押し、33
操作音量、106
測光、64

【た】

ダイナミックレンジ、87
ダイナミックレンジブラケティング、67,68
タイム撮影、52
多重露出撮影、69
長秒時ノイズ低減、52,89
デジカメプリント、120,121
デジタルスプリットイメージ、59
手ブレ警告、141
テレビ接続、123
電源、25
電子水準器、90
動画再生、44

動画撮影、43
動画の設定、84
動作環境（ソフトウェア）、110,113
トリミング、97

【な】
日時設定、26,104
ノイズリダクション、88

【は】
ハイパフォーマンス、107
ハイビジョン動画、43
ハイブリッドビューファインダー（OVF/EVF）、27,29
ハイライトトーン、88
パソコン接続、110
バッテリー、2,19,21,125
バッテリー残量表示、25
パノラマ再生、74
パノラマ撮影、72
パノラマプリント、120
バルブ撮影、52
半押し、33
ピクチャーサーチ、79
ピクトブリッジ、117
被写界深度、49
ヒストグラム表示、31
日付あり設定（プリント予約）、121
日付ありプリント（PictBridge）、118
ビューファインダー（EVF）、30
表示設定、107
表示比率（HDMI）、102
ファンクション（Fn）ボタン、82
フィルムシミュレーション、66
フィルムシミュレーションブラケティング、67,68

フォーカスチェック、59,105
フォーカスピーキング、59
フォーカスモード、58
フォーカスリング、58,105
フォーマット（初期化）、109
フォトブック、80
付属品、2
ブラケティング撮影、67
フラッシュ、40
フラッシュの調光範囲、41
フラッシュ（発光量）、94
プリント予約（DPOF）、121
フレーミングガイド、91
プレゼント、34
プログラムAE、32,47
プログラムシフト、47
プロテクト、98
別売アクセサリ、125
ヘルプ（ソフトウェア）、116
補正前画像記録、94
ホワイトバランス、53

【ま】
マイクレベル設定、95
マイクロサムネイル、37
マクロ撮影、42
マナーモード、11,105
マニュアルフォーカス（M）、58
マニュアル露出、50
マルチ再生、37
マルチ（測光）、64
メモリーカード、22,23,146
モニター明るさ、28,107
モニター晴天モード、28

【ら〜わ】
リサイズ、98
リセット、104
連続撮影（連写）、70
露出インジケータ、50
露出補正、63
ワイドコンバージョンレンズ、127

ソフトウェアのお問い合わせについて

- 1 お問い合わせの前にお確かめください。**
ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。
- 2 富士フィルム製品 Q&A・お問い合わせ**
<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html> をご覧ください。
- 3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。**
より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。
 - ・カメラの機種名
 - ・ソフトウェアのバージョン
 - ・エラーメッセージ
 - ・どのようなときにトラブルが発生しますか？ / トラブルが発生する直前の操作は？ / カメラの状態は？ / トラブルが発生する頻度は？
 - ・ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障が迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

- お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
- 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でおお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
- ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

● **FinePix クイックリペアサービス**

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが最短 3 日の宅配修理サービスです。

- ・申し込みは、以下から選択してください。

【クイックリペアサービス申し込み先】

インターネット：

<http://repairit.fujifilm.co.jp/quick/index.php>

電話：050-3786-1020

※受付時間：月～土 9:00～17:00（日・祝日・年末年始を除く）

ファクス：050-3786-2040

申し込みに際し、「個人情報の取扱について」をご確認ください。

- ・当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- ・保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- ・修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

● **富士フィルム修理サービスセンターへの送付修理**

- ・ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- ・修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

● **FinePix 特急修理サービス**

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、60分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。

- ・機種・故障の内容によっては、対応できない場合があります。
- ・サービスステーション窓口の状況によっては、対応できない場合があります。

- ・FinePix 特急修理サービスを実施している当社サービスステーションについては、050-3786-1040 に電話するか、当社ホームページ：<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html> をご覧ください。

- ・その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- ・特急修理のために特別なサービス料金は不要です。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- ・修理料金は、お引き取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。

● **お買上げ店への持込修理**

- ・修理料金およびその支払い方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

MEMO

●本製品に関するお問い合わせは…

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
9:00～17:40 / 土曜日 10:00～17:00

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A検索」もご利用ください。

- 修理サービスQ&A 修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。
<http://repair.t.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html>
- 修理納期検索サービス 東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。
<http://repair.t.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp>
- FinePix修理概算見積サービス 当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。
<http://repair.t.fujifilm.co.jp/estimate/index.php>

●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ 修理のご相談受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター TEL 050-3786-1040 月曜日～金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
9:00～17:40 / 土曜日 10:00～17:00

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■ 修理品ご送付受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1 / TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも **【FinePixクイックリペアサービス】** お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
<http://repair.t.fujifilm.co.jp/quick/index.php> / TEL：050-3786-1020▶お近くにサービスステーションがあれば **【FinePix 特急修理サービス】** 60分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス
※故障の内容によっては、対応できない場合があります。サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> または上記の<修理ご相談受付窓口>にてご確認・お問い合わせください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 9:00～17:40 / 土曜日 10:00～17:00 ※日・祝日・年末年始を除く）TEL 050-3786-1711